

長 薬 同 窓 会 報

Alumni Association

School of Pharmaceutical Sciences

Nagasaki University

第 56 号 (2016年)

目 次

同窓会長挨拶……………山中 國暉（昭43）……………	1
薬学部長挨拶……………黒田 直敬……………	2
平成28年度長薬同窓会定期総会・懇親会……………	3
平成29年度長薬同窓会定期総会のご案内……………	4
支部だより……………	5
関東支部，近畿支部，広島支部，山口支部抜天会，福岡支部浦陵会，大分支部，熊本支部，佐賀支部若楠会， 長崎県北支部，長崎県央支部，長崎支部ぐびろ会	
クラス会および近況だより……………	17
石原 淳（特），近藤 基（昭31），辻 孝（昭33），松尾幸子（昭34），北島四郎（昭35） 白松一良（昭36），小野 仁（昭37），伊豫屋偉夫（昭41），小林 茂（昭45），小寺 信（昭47） 橋間真理子（昭50），山口正広（昭56），中嶋幹郎（昭57），松原 大（昭58），松尾富士男（昭59） 浅沼章宗（昭60），谷口智子（昭61），岩永真理（平6），山口 拓（平8），萩森政頼（平13） 桑田拓也（平21），松本洋平（平25），畑こず恵（平26），菅 忠明（平27），林田颯志（平28） 千賀健司（学部3年），岸川直哉（平10），松尾洋介（平15）	
クラブOB会だより……………	44
野球部，硬式庭球部	
庶務報告……………	46
物故者氏名……………	46
寄附のご案内……………	47
学内記事……………	49
長薬同窓会役員名簿……………	51
長薬同窓会支部一覧……………	52
会計報告（平成27年度決算，監査報告，平成28年度予算）……………	53
同窓会事務局だより	
編集後記	



ご 挨拶

会 長 山 中 國 暉 (昭43)

今年の日本列島は、地震や阿蘇山の噴火、台風による大雨と種々の大きな災害に見舞われ、熊本、鳥取などをはじめとして全国各地で被害が続出しております。会員の皆様におかれましてはいかがだったでしょうか。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成24年度定期総会で会長を仰せつかって4年が経ちました。この4年間私は、「顔の見える同窓会」をめざし、役員や理事の先生方、多くの会員の皆様のご協力を得て、長薬同窓会の発展と会員皆様の交流促進に努めました。

平成28年度の長薬同窓会定期総会は、福岡支部浦陵会（池田光政支部長：昭57）、役員のお世話のもと、浦陵会会員の皆様のご協力を得て、6月11日（土）に福岡市ソラリア西鉄ホテルにて開催しました。本総会には、113名と多くの会員の皆様にご出席を賜りました。その中でも平成卒の会員が30名と例年以上に若手会員の参加が見られたことは嬉しい限りです。本年は役員改選の年であり、会長には私が継続させていただくことになりました。また長年、同窓会の発展にご尽力いただいた伊豫屋偉夫顧問（昭41）と田原 務副会長（昭51）が退任され、ぐびろ会会長中嶋誠一先生（昭49）に副会長へ新たに就任して頂きました。新体制におきましても、今まで以上に長薬同窓会の発展を目指し尽力させていただく所存でございます。また、今回の総会におきまして、会員名簿の発行方法の変更のご承認いただきました。従来、同窓会名簿は会員の皆様全員に発送しておりましたが、これからは、希望者のみに発送するように変更させていただきます。予算が厳しくなっておりますので、会員の皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。

長薬同窓会の事業内容についてご報告させていただきます。今年も8月第一日曜日に坂本

キャンパス内にあるグビロが丘の原爆慰霊碑周辺の清掃作業を行いました。ご協力を頂いた、同窓会有志および準会員（学部生）の皆様には感謝申し上げます。また、8月に医学部主催の原爆犠牲者慰霊祭への参加、11月には小野島校舎跡記念碑の清掃を行いました。これまでに、準会員である在校生に対し、学祭出店の補助、スポーツ大会等で優秀な成績を収めたチームへ金一封の進呈、記念（卒業）アルバム作製にも補助を行ってきましたが、今年も同様に行います。また、2014年よりはじめました学部1年生に対する「長崎大学薬学部の発端となった第五高等中学校の校章入り白衣」の贈呈も継続して行っております。また、同窓会ホームページに加えてFacebookを通じて同窓会の活動内容を広く公開しています。昨年、長薬同窓会に対し直接、寄附を行いたいとお声をいただき、役員会・理事会にて審議を行い総会での承認を得て、長薬同窓会への寄附の規定を設けました。お礼として、1口の寄附につき長崎大学薬学部の発端となった「第五高等中学校の校章入り白衣」を1着贈呈させていただきます。現在、長薬同窓会HPで申し込み手続きについて掲載しております。受け付けましたご寄附につきましては、長薬同窓会の運営に活用させていただきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

来年度の長薬同窓会定期総会は長崎支部ぐびろ会のお世話により、長崎市で開催されます。詳細が決まりましたらホームページやFacebookなどを通じて随時情報を公開させていただきます。幅広い世代の皆さまのご参加をお待ちしております。



長薬同窓会の皆様へ

長崎大学薬学部長 黒田 直敬

長薬同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より同窓会の皆様方には、長崎大学薬学部に格別のご支援いただいておりますこと心より御礼申し上げます。

昨年4月に薬学部長を拝命しまして、瞬く間に任期の4分の3が過ぎ去ってしまいました。その間を振り返りますと、何と申しましても薬学部にとりまして最大の行事は長薬創立125周年記念行事の開催でした。記念誌の発行に加えて、昨年11月7日の午前中に昭和町校舎記念碑除幕式（長崎大学教育学部附属小学校）、午後には記念式典と記念祝賀会（ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル）が執り行われました。午後の両行事では、いずれも180名を超える方々にご参加いただき、全ての行事を盛会のうちに終了することができました。また、本学ご出身の下村 脩先生には除幕式から祝賀会までの全ての行事にご参加いただき、創立125周年のお祝いにお祝いごとの盛大で格調高い式典となりましたことを報告させていただきます。記念行事開催に当たりまして、多大なるご支援をいただきました山中国暉同窓会会長を初めとする記念事業後援会組織および同窓生の皆様に、改めて御礼申し上げます。記念事業の募金に関しましても、多くのご寄附をお寄せいただき、ありがとうございました。今後、薬学部学生のグローバル化の促進や教育・研究支援等、有効な活用を同窓会と相談しながら進めてゆく予定です。

また、学部に関わる行事としまして、今年も長薬同窓会皆様方のご厚意により、9月29日に1年生を対象とした白衣授与式を開催させていただきました。長薬特製の白衣を贈呈くださいました長薬同窓会に改めて御礼申し上げます。

続きまして、今年に入ってから主な人事異動について報告させていただきます。3月には、これまで薬学部長、副学長等として長きにわたり薬学部を組織運営、教育、研究の面で支えてくださいました薬品製造化学研究室の畑山 範教授が定年を迎えられ、ご退職となりました。現在は、長崎大学の先端創薬イノベーションセンター創薬探索部門教授として、研究や後進の指導に当たっておられます。また、畑山教授のご退職と時を同じくして、同研究室の西丸達也助教もJT医薬総合研究所に転出

されました。細胞制御学研究室では、尾崎恵一准教授が3月に大阪薬科大学基礎薬学教育研究センターの教授として栄転されたことから、その後任として谷村 進助教が10月に准教授に昇任いたしました。4月に医薬品情報学研究室に着任されました本学ご出身の萩森政頼講師は、5月には准教授に昇任され、10月には薬物治療学研究室の稲嶺達夫助教がカリフォルニア大学サンディエゴ校医学部での研究を終え、研究休職から復帰されています。

最後に、国家試験の合格状況と就職状況について報告いたします。まず、第101回の国家試験結果に関しまして、薬学科新卒者合格率は86.11%と全国平均86.24%とほぼ同じ水準でした。これに加えて既卒者や旧4年制卒業生等の受験者23名中18名が合格したことで、全体の合格率（83.05%）としましては、全国平均（76.85%）を6%ほど上回る合格率となりました。今後とも引き続き、本学ご出身の川上 茂先生が中心となって、合格率向上に向けて精力的な指導を行って行く予定にしておりますので、ご理解のほどお願いいたします。一方、就職状況についてご紹介させていただきますと、薬学科の卒業生38名のうち、主だったところでは、24名が病院・調剤薬局に、3名が公務員、3名が製薬関連企業に就職し、また、2名が本学博士課程に進学しました。一方、薬科学科では卒業生35名中29名が本学博士前期課程に進学しております。

以上、長崎大学薬学部の近況を簡単に述べさせていただきましたが、来年度は薬学教育評価機構による第三者評価を控えております。全国の薬学系の大学や薬学部が7年に1度のサイクルで、薬学教育機関としての質を保証するための評価を受けることになっており、来年度がその年に当たります。今年はその準備のため、現在、教職員一同が評価資料の収集・作成に追われているところです。このような状況のなかで、同窓会の皆様には色々ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、薬学部のさらなる発展に向けて、これまでと変わらぬご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、長薬同窓会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

平成28年度長薬同窓会 定期総会・懇親会

本年度は福岡支部浦陵会（池田光政会長）のお世話で、平成28年6月11日（土）にソラリア西鉄ホテルで開催されました。113名の同窓会会員のご参加により、無事終了いたしました。

総会後の懇親会では、昭和24年卒松本康博先生の居合

の披露や平成7年卒浦上眞紀さんによるジャズセッションの演奏など、大変盛大な会となりました。

その模様を一部紹介いたします。福岡支部浦陵会支部だよりも併せてご覧ください。



総会



福岡支部浦陵会会長挨拶



薬学部長挨拶



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



集合写真

平成29年度長楽同窓会定期総会のご案内

日時 平成29年6月10日(土) 17:00～総会 18:00～懇親会(予定)

場所 ホテルニュー長崎

長崎市大黒町14番5号

Tel 095-826-8000

平成29年度の総会は長崎支部ぐびろ会がお世話をさせていただきます。会場は長崎駅のすぐ横で、交通の便が良いところです。

今、長崎は軍艦島ツアーで賑わい、世界新三大夜景を見ようと、改装されたロープウェイを使い稲佐山は昼も夜も賑わっています。また、長崎駅の裏手に長崎県庁も新築されつつあります。是非、総会に出席されたあと、見学してみたいかですか。ぐびろ会一同皆様をお待ちしております。

支部だより

●● 関東支部 ●●

支部長 原 正朝 (昭60)

関東支部総会を10月23日日曜日午後、「東邦大学薬学部 習志野キャンパス」で開催しました。東邦大学薬学部は、加藤恵介幹事長が薬化学教室教授を務められており、昨年に引き続き2回目の開催です。

今年の総会には、来賓として長薬同窓会本部から、川上 茂先生(医薬品情報学分野教授)、近畿支部から伊藤 潔幹事長(摂南大学薬学部教授)にご出席いただきました。近畿支部との相互交流を深めるため、小職が前週の日曜日10月16日に大阪で開催された、近畿支部総会に参加しました。関東支部には600人、近畿支部には400人の会員が所属しており、今後も引き続き、相互交流を深めて同窓会活動の活性化を図っていくことで一致しました。関東支部総会参加者は、昭和の卒業生11人、平成の卒業生12人の計23人です。平成卒業では平成27年2人、28年1人の3人の卒業生が出席してくれました。

総会は、加藤幹事長の司会進行により進められ、昭和30年卒の森田さんによる校歌斉唱、物故会員8人への黙祷の後、川上先生からの薬学部の近況報告、125周年事業の報告、新設された長薬同窓会への寄附制度の説明などがありました。関東支部では、若い卒業生の懇親の場として、長薬関東若手の会を開催しています。今年は第7回長薬関東若手の会を7月9日土曜日に開催し、平成の卒業生25人が集まり、気軽な飲み会の中で懇親と情報交

換を行いました。関東地区には23の薬学部があります。全国の6年制薬学部の平成28年入学の学生数約12,000人中5,300人が関東地区に集中しています。関東で仕事をしている中で、長崎大学の同窓生に会うことは少なく、長薬関東支部は貴重な同窓生の情報交換の場ではないでしょうか。来年も長薬関東若手の会を開催しますので、平成の卒業生の参加をお待ちしております。

今年6月に福岡で開催されました長薬同窓会総会は、来年は長崎で開催予定です。再来年の平成30年の総会を東京で行うことが、関東支部総会で承認されました。東京での総会は、平成21年6月以来となります。これから準備を始めますが、全国から多数の同窓生にお集まりいただくことを期待しております。

総会后、川上先生に、「医療機器とナノテクノロジーを融合させた新たなドラッグデリバリーシステムの開発」というテーマで講演していただきました。医薬品開発は、低分子医薬品から、高分子のタンパク質医薬品、遺伝子・核酸医薬品へと変わってきており、この流れの中で体内動態の精密制御を目指すドラッグデリバリーシステムが重要になってきているとの事でした。

その後、会場を大学生協の食堂に移し懇親会を行いました。懇親会では、若い卒業生から近況報告をして懇親を深めることができました。二次会は、新築された、加藤幹事長の有機化学教室のゼミ室で、学生時代のように、車座になって様々な話題で盛り上がりました。昭和の卒業生からは、関東シニアの会設立の提案があり、来年から新しい活動を始めることになりました。長薬関東支部が同窓生の絆を深める場となることを期待して、今



平成28年10月23日 於 東邦大学薬学部習志野キャンパス

年の活動報告といたします。

参加者

来賓 伊藤 潔様 (昭59)

来賓 川上 茂様 (平7)

黒岩 幸雄 (昭30) 森田 和之 (昭30)

松尾 一誠 (昭35) 樋口 宗司 (昭42)

谷 覺 (昭42) 渡辺 熙 (昭42)

西村 正邦 (昭44)

原 正朝 (昭60)

村山 信浩 (昭61)

松下 陽子 (平3)

石橋 紀久 (平11)

神野 正啓 (平15)

服部 芳野 (平23)

森蘭 文恵 (平27)

梶村 博 (昭50)

高橋 薫 (昭60)

加藤 恵介 (昭62)

宇佐 昌芳 (平7)

高橋 圭介 (平13)

藤野 正堂 (平16)

山崎裕太郎 (平27)

山元 広平 (平28)

●● 近畿支部 ●●

幹事長 伊藤 潔 (昭59)

平成28年度近畿支部総会は、10月16日(日曜日)の午後1時半より阪急ターミナルスクエア・17を会場に開催しました。昨年度に引き続いての会場で、ややわかりにくい場所ながら、梅田繁華街での会には27名の出席者が集い、やや少人数ながら、いつものメンバーに久しぶりにご参加のお顔を加えての開催となりました。

長葉同窓会本部から副会長の中嶋幹郎教授(昭57)をお迎えすると共に、大所帯の関東支部から支部長の原正朝氏(昭60)をお招きし、「薬局業界の現況」についての特別講演で最新の情報を提供していただきました。

総会に先立って特別講演を行うことが多い支部総会ですが、今年度は支部総会を先に行なって近畿支部の近況を中嶋副会長、原関東支部長にも簡単にご理解いただいてからの特別講演としました。原氏には関東支部と近畿支部との違いなどについても言及いただき、同様に多くの会員が所属する近畿支部と関東支部との連携や協力についてのお話しも始めることができ有意義であったと感じました。

さて、平成27年度会計及び監査報告、平成28年度事業計画並びに予算案の4議案と平成28年度新役員の5号議案は全て原案通りに承認されたことを記しておきます。

今年度より新幹事長となりました伊藤は、事業計画案の中で私案を中心に今後の方針を述べましたが、今年度の近畿支部の大きな目標の一つは、支部のホームページをオープンして情報発信をしていくことであります。年度終了までには果たしたいと考えています。

特別講演に引き続いての懇親会は、森藤由香さん(昭59)の進行、山戸 寿さん(昭30)の乾杯の音頭から始まりました。懇親会には、3月に摂南大学を退職された芳本 忠長名誉教授も駆けつけてくださり、途中には出席者のスピーチ&トークをはさみ、例年通り大いに盛り上がった楽しいひとときを過ごすことができました。

長年近畿支部の活動を支えていただいた前幹事長の小池正博氏(昭47)から、閉会に当たってのご挨拶をいただき、一同、感謝の気持ちを込めて拍手をお贈りしました。

最後は万歳三唱で支部総会を一旦終えましたが、その後も例年通りのことながら、参加者の多くが二次会会場へ場所を移し、話しきれなかった思いを語る時間をもつことができ、夜も更けた中、解散となりました。

いわゆる同窓会のあるべき姿というのは、正直なところわかりません。人それぞれです。ただ、同窓会って名のつくところは楽しいところで、楽しめるところのイメージがずっとあります。来年度以降も、楽しい会を目指して支部総会、懇親会を続けていきます。お時間があれば、気軽に参加していただける会でありたいと思っています。よろしく願いいたします。



平成28年10月16日 於 阪急ターミナルスクエア・17

最後に参加者の氏名を記します。

原 正朝 (昭60)	中嶋 幹郎 (昭57)
芳本 忠 (特)	山戸 寿 (昭30)
山口 剛志 (昭31)	白石 哲也 (昭32)
白石 葉子 (昭32)	浅井 武 (昭36)
土田 拓生 (昭38)	村木 正義 (昭39)
奥村 忠芳 (昭42)	遠藤 寛子 (昭42)

木原 隆英 (院昭43)	広本 淳子 (昭44)
山内 平介 (昭46)	末澤 克己 (昭47)
小池 正博 (昭47)	江田 昌平 (昭54)
廣野 善昭 (昭54)	大谷 渡 (昭57)
伊藤 潔 (昭59)	森藤 由香 (昭59)
久松 貞義 (昭60)	藤 秀行 (昭61)
下田 幸枝 (平2)	赤間みどり (平8)

●● 広島支部 ●●

支部長 青野 拓郎 (昭52)

長薬広島支部同窓会を平成28年10月30日(日)にホテルグランヴィア広島のスカイバンケット曙光で開催しました。この会場は、ホテルの最上階で見晴らしが良く、今年凄く盛り上がったプロ野球カープの本拠地MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島もかなり近くに見える会場です。

今年は、長薬同窓会会長の山中國暉先生をお招きしての開催となりました。今回も他の行事が重なったり、体調不良などで欠席された方もいて少し寂しい10名での会となりました。

例年通り橋口信彦先生(昭36)の司会のもと始まりました。支部長挨拶の後、今年度日本薬剤師会功労賞を受賞された工藤重子先生(昭32)による乾杯挨拶があり、会食懇談となりました。

歓談中に来賓の山中國暉先生の御挨拶があり、最近の長崎大学薬学部、長薬同窓会の活動の様子等のお話をお聞きすることができました。またご自身の五島の薬局の話も伺うことができました。

近況報告では、今年はなんといっても広島カープ関連の

話題が多かったように思います。また、いつもの年と同様に旅行の話、現在の仕事の話やご自身やご家族の病気の話、ご家族の介護の話等、様々な出来事の話をお聞きました。

御夫婦で毎年交互に出席して頂いている村上家からは、奥様の郁子先生(昭43)が出席されました。相変わらず活発に動かれており、今年は家庭菜園の話をしていろいろお聞きすることができました。

最初参加者10名と山中会長を含め11名のため2テーブルで歓談しておりましたが、途中から全員で1テーブルに集まったところ凄く盛り上がり、今までと違った意味で楽しい会となりました。

近況報告が終わったところで写真撮影に移り校歌を斉唱し、最後に左利龍彦先生(昭38)の閉会の辞及び乾杯で閉会・解散となりました。

出席者

来賓 長薬同窓会会長 山中 國暉先生	
工藤 重子 (昭32)	橋口 信彦 (昭36)
左利 龍彦 (昭38)	村上 郁子 (昭43)
品川龍太郎 (昭44)	曾根 正勝 (昭46)
青野 拓郎 (昭52)	渡辺真由美 (昭52)
後河内厚行 (昭53)	手島 賢二 (平8)



平成28年10月30日 於 ホテルグランヴィア広島

●● 山口支部抜天会 ●●

事務局 伊藤 弘範 (昭55)

山口抜天会は、2,3年に1回開催しているところですが、前は平成25年10月26日に15名の参加で開催でした。

前回から2年を経過するというので、今村明久会長(昭49)から開催の指示があり、私が前回に引き続き開催の事務をするように仰せつかりました。

世話人会(会長以下6名)を開催したのが昨年(昭49)の9月でした。年内の開催は難しいということになり、皆さんが集まりやすい、前回と同じ新山口駅前の山口グランドホテルで今年(昭55)の5月21日(土)に開催することとなり、同窓会から県内の同窓生の名簿をいただき、開催案内を送付しました。

160名を超える方々に御案内をしたところですが、なかなか出席者が集まらず、15名の参加連絡となりました。また、残念なことに、世話人を毎回お引き受けいただいていた河田和子さん(昭32)が、出席をとっても楽しみにしておられたのに、抜天会開催を目前にしてご病気で亡くなりました。また、急遽出席がかなわなくなっ

た方もあり、最終的には14名の参加となってしまいました。

会は、今村会長の挨拶から始まりました。

長薬同窓会から岸川庶務幹事(平10)に御出席をいただき、大学や同窓会の近況についてお話をいただきました。

参加者最高齢の高松 薫さん(昭42)の乾杯の後、しばらく歓談いただき、参加された皆さんお一人ずつ近況の報告をいただきました。学生時代の話など色々な話題で楽しい時間を過ごすことができました。

閉会前に全員で薬学部校歌を斉唱(今回もメロディ付きでした。)し、盛会のうちに散会となりました。

これからも若い方々にもより多く御参加いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

出席者

高松 薫 (昭42)	森重 徹洋 (昭48)
今村 明久 (昭49)	大平 健一 (昭49)
末田 淳子 (昭53)	伊藤 弘範 (昭55)
瀬戸久美子 (昭56)	江本 佳子 (昭56)
中尾 寿敏 (昭57)	岡 幸夫 (昭59)
野村 由子 (昭60)	大畑 教昭 (院平2)
黒瀬 恵 (平11)	山下美智子 (平17)



平成28年5月21日(土) 於 山口グランドホテル

●● 福岡支部浦陵会 ●●

会長 池田 光政 (昭57)

平成28年の長薬同窓会総会・懇親会は6月11日土曜日、福岡市の中心地、天神にあります、ソラリア西鉄ホテルで開催され、懇親会は私ども福岡支部浦陵会が幹事を務めさせて頂きましたので、ご報告させていただきます。

懇親会は昭和59年卒業の金子富美さんの司会により進行され、浦陵会副会長の松原 大氏 (昭58) による開会宣言に続き、浦陵会の会長を拝命しております私、池田光政 (昭57) が皆様に歓迎の辞を申し上げ、開幕しました。

主賓の長崎大学薬学部長の黒田直敬先生よりご挨拶を賜り、長崎大学薬学部名誉教授でいらっしゃる古川 淳先生 (昭25) によるご発声で乾杯へと進みました。まさに開宴となりましたが、松本康裕先生 (昭24) にご登壇



いただき、真剣による居合の披露が始まりますと、剣の風を切る音や松本先生その美しいまでの緊迫した技の数々に、参加者一同、ステージをじっと見入る、静かな、ピンとはりつめた空気に包まれました。

その後、食事も地酒や焼酎などアルコールも徐々にすすんでいくとともに、和やかな雰囲気となり、先輩と後輩、恩師と教え子……と様々な人の輪で会話が弾んでいく中、平成7年卒業の浦上真紀さんによるJazz Liveが始まりました。長崎で過ごす学生時代に出会ったJazzを、大学院卒業後アメリカでさらに研鑽を積み、今も薬剤師の仕事とプロのJazz Vocalistという2枚看板で活躍されている浦上さんのパワフルな本物の歌声に、会場全体が酔いしれました。

楽しい宴はあっという間に過ぎ、岸川 良先生 (昭25) のご発声による万歳三唱、浦陵会副会長の首藤英樹氏 (昭58) の閉会の辞でお開きとなりました。

今回懇親会にお集まり頂いた同窓生は、総勢112名 (男性：68名、女性：44名) で、女性が1/3以上とたくさん、参加していただいたこと、さらに社会人1年目：2名、社会人2年目：3名を含み平成卒が30名という、若い世代の会員の同窓生にも沢山ご参加いただけたことは、大変嬉しいことであり、幹事を代表してお礼を申し上げます。

女性と若い世代の参加拡大という同窓会の積年のテーマに、浦陵会の会員皆で取組み、若い世代も巻き込んで何度も集まり、準備を重ねた賜物と思います。準備および当日の進行に際し、頑張ってくれたスタッフの皆さんに、この場を借りて、お礼を伝えさせていただきます。「本当に、ありがとうございます。」



平成28年6月11日 於 ソラリア西鉄ホテル

また長薬同窓会本部の山中国暉会長をはじめ、伊豫屋偉夫顧問、原田 均監査、副会長の佐々木均先生、七種均先生、中嶋幹郎先生、編集幹事の川上 茂先生、庶務幹事の岸川直哉先生、幹事の松尾洋介先生、宮元敬天先生にご出席いただきましたこと、さらに梶野 繁・近畿支部長、石橋 眞・大分支部長、増田和久・北九州支部長、濱田哲也・長崎ぐびろ会長、原 正朝・関東支部長、山本喜一郎・熊本支部長と各地の支部長の方々をはじめ、

遠方各地からご参加いただいた同窓生の皆様に、心よりお礼申し上げます。

来年は長崎ですね。皆様とまた長崎でお会いできるのを楽しみにしております。そして、来年以降も、多くの女性会員や若い世代の参加が続くことを期待します。

最後になりましたが、懇親会の実施に際し、多大なるご協力をいただいた、同窓会本部の先生方に感謝申し上げます。

●● 大分支部 ●●

支部長 石橋 眞 (昭49)

平成28年度長薬同窓会大分支部の総会及び新年会が、平成28年1月30日(土)午後6時30分から大分オアシスタワーホテル(大分市)で開催されました。今回は、来賓として本部から梶島 力准教授(平4)をお招きしました。梶島先生は、平成22年に一度来ていただき、今回が2回目の大分への来県です。大分県には平成4年卒が4人いますが、今回の出席者は2人で、また、先生の教え子である長野君(平16)も参加してくれまして、同級生や教え子という垣根を越えて楽しい笑い声が満ち溢れていたのも同窓会ならではの光景でした。

出席者は例年20~25名の参加で支部長として淋しい気持ちになっていましたが、今年は31名の出席となりました。30名を超えたのは平成12年以来、16年ぶりの出来事

で、幹事ともども大変喜びがあったところです。

しかしながら、若者の参加が少ないのは残念なことでした。一番若い人で平成19年卒の山瀬君で平成卒業者は10名という状況でした。平成25年総会に3組の若いご夫婦の出席があり、大変盛り上がった記憶があります。やはり若い方々が多く参加してくれれば「場」は盛り上がりますので、もう少し参加してくれたらいいなあ~と思うところです。

総会では、今年度から事務局が還暦を過ぎた阿部先生(昭50)から若い陸丸(院平15)、河村(平18)両君の2人体制になったことから、年長の陸丸君の司会で進められました。

議事に入る前に、恒例の記念撮影、山野内先生(昭28)と野内先生(昭37)のお二人への黙祷、そして支部長あいさつが行われ、その後事務局より収支決算書、会員の異動等の報告がありました。

長年事務局を守っていただいた阿部先生に感謝を込めて記念品を贈呈したところです。また、阿部先生におか



平成28年1月30日 於 大分オアシスタワーホテル

れましては、平成27年10月に厚生労働省において「薬事功労者厚生労働大臣表彰」を受賞されました。大変栄誉なことで、喜ばしいことです。ほんとうにおめでとうございました。

来賓の梶島先生からは、「長崎大学薬学部歩み」とのタイトルでスライドにてお話して頂きました。このスライドは「長崎大学薬学部創立125周年記念式典」で披露されたもので、今回は時間を短くし、懐かしいお話を頂いたところです。

旧中部講堂、昭和26年から昭和44年までの19年間の学びの舎であった昭和町校舎、薬学部学園祭における仮装行列において長崎市役所付近での行進風景などなど我々昭和の年代にとっては大変懐かしいシーンばかりでした。

そして、私たちの誇りである下村博士と同級生であり最後の薬専卒業者である西川大先輩（昭26）から乾杯のご発声で懇親会が始まりました。会員の皆様方は円形の

テーブルに分かれて座り、世代の垣根を越えて料理やお酒を楽しみながら学生時代や現在の仕事の話に華を咲かせていました。時間が経過して宴が盛り上がったところで、卒業年次の若い順に近況報告を語りながら自己紹介が行われました。病院（薬局）勤務の方、行政の方、開局された方、卸勤務の方等幅広い同窓が時の経つのも忘れ、楽しいひと時を過ごされたことと思います。

最後に、恒例の「巻頭言」を堤 勝也君（昭62）の堂々たる声に聞き惚れながら、全員で「薬学部校歌」を熱唱し、参加者最年少の山瀬君（平19）の締めで散会となりました。

大支部の皆さん、是非とも都合がよければ、同窓会に足を運んでください。普段の生活では関ることの出来ない先輩の方々とお話ができ、貴重な時間になることでしょう。

梶島先生、豊後の国まで遠路お越しいただきありがとうございました。

●● 熊本支部 ●●

支部長 山本 喜一郎（院昭55）

皆様御存知のとおり、今春熊本は大変な災害に遭遇しました。

4月14日午後9時半頃、熊本地方でマグニチュード（M）6.3の地震（前震）が発生し、益城町では震度7を観測しました。私が住む合志市でも震度5強の揺れがありました。当初私は、これが本震でその後は余震として規模の下回る地震しか発生しないだろうと思っていました。ところが、その28時間後の4月16日午前1時半頃には、M7.3の地震（本震）が発生し、西原村と益城町で震度7を観測しました。震度7というのは気象庁の震度階級で最大であり、過去には平成23年の東日本大震災を含めて3回しか観測されていないとのこと。本震は、前震に比べて揺れの大きさのみならず、持続時間が長く、その事も被害が大きくなった原因だと思われます。本震発生時、私は自宅2階のベッドで寝ていたのですが、突き上げるような大きな揺れに叩き起こされ、不安な夜を過ごしました。

熊本の被害の状況は、ニュース等で報道されました。長葉同窓会事務局からはお見舞いの電話をいただきました。私の所へは同窓会員の被害についての報告は来ておりませんが、被災された同窓会員の皆様やそのご家族、ご親戚、ご友人の皆様にご心からお見舞いを申し上げます。また、災害支援薬剤師として駆けつけて下さった先生方には、御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

私は、熊本県薬剤師会災害対策本部で救済医薬品の管理に従事し、県内の救護所が撤収された5月末まで、忙しい日々を過ごしました。地震発生から半年を経過した今、完全にとはいえませんが、徐々に日常が戻ってきました。しかし、本年9月に熊本での開催が予定されていた第77回九州山口薬学大会は、メイン会場の熊本市民会館及び熊本市国際交流会館の被災の影響で、残念ながら中止となってしまいました。

7月の時点で、今年の熊本支部例会を開催するかどうか、事務局の松尾さんと話し合いましたが、地震発生から3ヵ月以上経過していること、同窓会員の被害の報告がない事、皆さんの近況も知りたい事等を勘案し、開催することにしました。案内状への返信の連絡欄には被害の報告もなく、ひと安心でした。

平成28年度の熊本支部例会は、予定通り9月の第一土曜日、9月3日（土）に城東町の“アークホテル熊本城前”にて開催しました。参加者は14名でした。

開会に先立ち、平成27年12月3日ご逝去の田中（坂本）恵津子様（昭29）を悼み黙祷を捧げました。開会の挨拶の後、昨年に引き続き同窓会本部から来ていただいた同窓会副会長の七種先生から、長葉同窓会活動や、最近の長崎の状況や西小島の佐古小学校跡に養生所と附属医学所の遺構が発見されたことを紹介していただきました。

近況報告では、やはり熊本地震の話題が中心でした。岩下さんのお話では、山鹿地区では地震の被害は無かったものの、被災地域から買い出しに来られたため日用品が不足したそうです。ボランティアとして益城地区へ行かれた木山さんからは、現地の被害状況のお話がありました。また、田中さんは、一時避難所生活を経験されたそうです。古海さんは産業医のお仕事で未だ復興途上の

南阿蘇地区へ通われているとのことでした。七種先生から長崎でも震度4の揺れがあり、被害を受けた施設もあったと聞き、驚いたことでした。

例会開催について不安もありましたが、参加の皆さんの明るい笑顔に接することができ、ホッと胸をなでおろしました。二次会も11名の参加となり、楽しい時間を過ごすことができました。参加の皆さん、ありがとうございました。

熊本支部の皆様、例会は毎年9月の第一土曜日に開催していますので、是非ご参加下さい。ちなみに、来年は9月2日（土）開催予定です。

参加者（14名、敬称略）

岩下 淑子（昭52）	古川 真一（昭54）
山本喜一郎（院昭55）	木山 容子（昭57）
秦野 正敏（昭56）	田中 久子（昭56）
矢上 一英（院昭57）	木山 雄一（昭59製）
松尾富士男（昭59）	矢田 道代（昭60）
中嶋弥穂子（院昭61）	古海 勝彦（昭61）
山内 秀樹（平2）	
来賓 七種 均（昭56）	



平成28年9月3日 於 アークホテル熊本城前

後列左より 山本、七種、山内、古川、秦野、矢上、木山（雄）、松尾、古海
前列左より 木山（容）、矢田、岩下、中嶋、田中

●● 佐賀支部若楠会 ●●

木寺 健司（平15）

平成27年度の佐賀支部若楠会総会及び懇親会は平成28年3月5日（土）午後5時30分から佐賀市内のホテルマリターレ創世佐賀において開催されました。今年の参加人数は19名と例年よりは少なめでした。総会では長崎大学薬学部校歌斉唱に続き、来賓の川上 茂先生（平7）から長崎大学薬学部創立125周年記念行事について詳しい様子を話していただきました。その後、藤戸 博支部長（院昭52）からあいさつがあり（ハプニングで来賓あいさつと支部長あいさつが逆転しました）、議長に下平伊知郎先生（平10）を選出、議事を終え懇親会へと移りました。懇親会では乾杯の音頭を古川 淳先生（昭25）

にとってもらいました。また、古川先生の昭和時代の話で大いに盛り上がり、写真撮影もこの後に行いました。

私個人の話としては懇親会では日ごろの仕事ぶりや来年度の調剤報酬改定の対応、そして私、下平先生や西依健先生（院昭54）の娘さんが実は分子薬理学教室（現創薬薬理学教室）の同門であるということが判明し、教室の昔話で盛り上がりました。

最後に江口 暉先生（昭30）の一丁締めで散会となりました。

さて、藤戸支部長からもお話がありましたが佐賀支部若楠会では出席者、特に若手の出席者が少ないという問題があります。そこで総会の際に各年代から代表者が声掛けをすることになりました。声を掛けられた皆さん、こころよく参加のお返事をお願いします。

来年もよろしく願いいたします。

(出席者)

川上 茂 (平7)	古川 淳 (昭25)	西依 健 (院昭54)	吉田 泰史 (昭55)
江口 嶸 (昭30)	大坪 美穂 (昭47)	大田寿美子 (昭56)	志岐 寿子 (平4)
大間 賢一 (昭47)	池田 知子 (昭49)	下平伊知郎 (平10)	木寺 健司 (平15)
八谷 緑 (昭50)	藤戸 博 (昭52)	稲田 善行 (平17)	中尾 澄絵 (平21)
末安 智子 (昭52)	末安 正典 (昭52)	矢ヶ部良太 (平26)	



平成28年3月5日 於 ホテルマリターレ創世佐賀

●● 長崎県北支部 ●●

支部長 相川 康博 (昭48)

平成28年11月12日夕、およそ2年ぶりに佐世保グリーンホテルいけ洲博多屋において、来賓に山中國暉長葉同窓会会長をお招きして、総勢18名で支部総会を開催しました。参加で返信された後に3名が欠席となり、目標の20人には届きませんでした。

冒頭、本年9月に若くして亡くなった平成21年卒の鴨川 諭 (平21) さんに、全員で黙祷して会を始めました。

私の挨拶の中で、中島憲一郎先生 (昭46) が長崎国際大学の学長に就任されたこと、以前に支部長も務められた今上 亨先生 (昭25) にも案内したが、静岡県三島市にある高サ住の住所で返ってきたこと、間違いなく会計していることを報告しました。

続いて山中会長から、125周年記念事業の報告、同窓会の近況や来年は長崎市で総会を行うこと、中島先生の長崎国際大学の学長就任に対するお祝いなどの挨拶をいた

だいた後、中島先生の学長就任を祝って、支部からの心ばかりのお祝いの品を送り、それに対するお礼の挨拶をいただきました。

一連のセレモニーを終わり、出席者の中では最長老になられた松田雄光先生 (昭25) の発声による乾杯で懇親会に移り、しばらく歓談の後で卒業年の順にそれぞれの近況を報告してもらいました。その後再び、近況報告を聞いた後の話題などで歓談が続きました。

宴も進み、式次第最後の万歳に移る前に集合写真を撮り、山中会長に万歳三唱の音頭をとっていただき、皆声高らかに万歳をして会をお開きとしました。会長は、翌日に小野島校舎跡碑の清掃を控えており、どうしてもバスで帰らなければならないとのこと退席されましたが、その後しばらくは残った料理を平らげるために談笑が続きました。

出席者

大庭 義史 (特)	松田 雄光 (昭25)
末武 和子 (昭29)	松尾 幸子 (昭34)
林田 匡代 (昭36)	松本 功治 (昭41)

島田志津枝 (昭45)	中島憲一郎 (昭46)	榊原 隆三 (院昭50)	荻野 清子 (昭62)
大井 和子 (昭47)	相川 康博 (昭48)	井手 指月 (平2)	中村 沙織 (平16)
宮田 節子 (昭48)	橋本 次男 (昭50)	大神 正次 (平16)	



平成28年11月12日 於 佐世保グリーンホテルいけ洲博多屋

●● 長崎県央支部 ●●

支部長 田中 秀二 (昭46)

総会前夜、一時雨が降るなど不安定な天気でしたが、夜が明けると時折薄日が差すまじまじの日よりの平成28年10月16日、蒸し暑さの残る中18名の方々の出席をいただき、諫早駅前「和元 諫早店」において、同窓会から梶島 力先生 (平4) を迎え総会及び懇親会を開催いたしました。

なお、開催の前に、長年支部総会に出席されておられ、今年5月にお亡くなりになった高橋先生 (昭20) のご冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。

総会では、梶島先生からご挨拶のほか、長崎大学薬学部創立125周年記念事業への協力に対するお礼、また、記念事業の一環として、長崎大学教育学部附属小学校敷地内 (旧薬学部) への記念碑の建立及びいただいた募金を学生及び若手職員の育成支援に活用させていただくことなどのご報告がございました。その他、どの支部でも総会への参加、特に平成になって卒業された会員方の参加が少ないことから、同窓会としても会員の参加を増やすべく努力を重ねており、その方策の一つとして、学生の中から同窓会を意識し身近に感じて貰うため、「長薬同窓会」の文字と校章入りの白衣を贈呈していることなど大学及び同窓会の活動や近況についてお話がござい

た。また、今年度からご寄附いただいた方にも同じ白衣をお礼としてお渡しする旨のお話もいただきました。

次に写真撮影となりまして、従業員の方に撮影をお願いしたところ、なかなかシャッターが切れず、待ちきれない先輩から「もうちょっと強く押して」との一言で笑いの中、無事撮影が終了し、ようやく懇親会が始まる運びとなりました。

その後の懇親会では、最長老で一番お元氣な山本先生 (昭30) に乾杯の音頭を取っていただき、歓談が始まりました。

少しお酒の入った頃を見計らい (お酒が入ったのは6、7名程度の方でしたが)、参加者の方々から近況についてご報告をいただきましたので、その一部をご紹介します。

「自宅が新幹線用地となり立ち退きを迫られ、先がないのに現在家を新築しており、長生きをしなければいけないと心底から感じている次第です。」「娘に子が生まれ、毎日孫の写真を眺め幸せを感じています。」「ばけ防止のため、家内とその友達に麻雀を教え彼女たちは毎週ジャラジャラ、学生時代に覚えたことがやっとなりに役立った感じです。」「退職後卸屋に勤めゴルフなどを楽しみ、現役の時より充実した生活を送っています。」「仕事が忙しく自由な時間が取れないので引退を考えており、残りの人生を大いに楽しもうと思っています。」などの生活感に溢れるお話がございました。また、薬剤師ならではの近況として「認定薬剤師を取得する必要があります、PCによるオンライン講習を利用しました。要件の40単位 (60時間相当) を2週間程で取得

したが、長時間椅子に座り腰を痛めてしまいました。」との話があり、それを聴いた周囲から「ほー！」と感嘆の聲が上がりました。その他「薬剤師としての参考になれば」とご家族の特異な症例についてご説明がございました。その間も会話が弾み、終始大変和やかな雰囲気でした。

近況報告が終わり、皆様方にお酒を注いで回っていたところ、大先輩から「私たちの教養部は大村ポート場を見下ろす高台にあって、他の学部の方も同じ校舎で授業を受け、その校舎の下に学生寮があり、大村には楽しい思い出が沢山詰まっています。先日、長崎で同窓会を行った際は、跡地を訪ね当時を懐かしく思い出しながら記念写真を撮りました。」との話を伺い、恥ずかしながら初めて教養部が大村にあったことを知りました。

後日ネットで検索したところ、当時の教養部である長崎大学大村分校は、大村市久原1丁目にある現在の長崎県立大村城南高等学校に置かれていたようです。

ところで、総会の始まる前のことですが、福岡県から県央に引っ越してこれ初めてこの総会に参加され、卒業以来45年ぶりの再会を果たした感動の場面がございました。

ここで、返信葉書の通信欄に寄せられた方々の近況をご紹介します。

まず、「来年の元旦で卒寿になります。お陰で元気に過ごして居ります。」「年を取りました。84歳です。現在2ヶ所の病院に通院中です。」「体調不良のため欠席します。」「主人の体調不良で近場の外出だけをしています。大村開催の折りは是非出席させてください。」「義父が施設から帰宅しており、世話のため欠席します。」「遠出する予定のため出席できません。仕事の方は徐々に勤務日数を減らしていくつもりです。」「などのご自身やご家族の方の健康に関するものがございました。また、「残念ですが、高校の同窓会と重なり出席

できません。何とか無事に過ごしており、次回には出席したいと思っています。」「当日は大村春日神社のお祭りに参加のため欠席します。残念!」など出席できなかったことを残念に思っておられる方々からのお便りがございました。その他、丁度、長崎県でねんりんピックが開催されていることなどから仕事や動員で欠席された方もおられたようで「イベント等で出席できません。」「当日はねんりんピック対応のため欠席させていただきます。」「他の行事のため欠席します。」「学会出席のため欠席します。」などのお忙しい方や若い方々からのご返信もございました。

最後に若い世代を代表して野口先生(昭62)の万歳三唱で締めくくり、楽しいひとときを過ごした会場を後にしました。

ところで、まだ参加されていない同窓生の皆さん、長崎県央支部は諫早市及び大村市の会員で構成され、和やかな雰囲気ですので、ぜひ一度参加されてみては如何ですか。

次回はより多くの方々の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、今年参加された方々をご紹介します。

(出席者)

来賓 梶島 力(平4)	岩永 直子(昭46)
山本 勲(昭30)	川口 房子(昭46)
西村ヒサ子(昭31)	香月幸一郎(昭46)
坂本 滋子(昭34)	田中 秀二(昭46)
松村 祐子(昭40)	西村 昇(昭50)
小松 芳文(昭41)	藤原 正晴(昭51)
平山 文俊(昭41)	山口 正広(昭56)
内田 民子(昭44)	高良 真也(昭57)
堀江 成子(昭46)	野口 聖子(昭62)
宮崎 信子(昭46)	



平成28年10月16日 於 和元 諫早店

追伸

今回は二次会を設定したところ、総会会場を出てもなく夕立に見舞われ、近くに雨宿りの後、小降りになってから二次会場へ向かいました。

二次会では参加者は5名と少ないながら、多方面に亘る会話とカラオケで楽しい充実した時間を過ごしました。

●● 長崎支部ぐびろ会 ●●

会長 中嶋 誠一 (昭49)

平成28年度の長崎支部ぐびろ会総会は6月18日(土)、セントヒル長崎で、47名(学生11名)の参加者で開催されました。

今年度は役員改選の年で、濱田哲也前会長(昭54)のあとを継ぎ、私が会長に就任することになりました。副会長には岩永真理さん(平6)が留任され、ほかの役員もほとんどが留任して頂きました。

総会は、物故者の黙とう、校歌斉唱、濱田会長挨拶、来賓として山中長薬同窓会会長挨拶のあと、議長に秋吉隆治氏(平3)を選出して、議事を進めました。

第1号、2号議案：平成27年度事業報告、決算報告、監査報告に続き第3号議案：役員改選を行い、新しい役員が選出されました(参考資料参照)。第4号議案：平成28年度事業計画を提案いたしました。今年度は(1)グビロが丘慰霊碑周辺の清掃(本部協賛)(2)旧小野島校舎跡記念碑周辺の清掃(本部協賛)(3)平成29年度長薬同窓会定期総会の準備(4)ぐびろ会総会の開催などを提案し承認して頂きました。

総会の後、長崎大学薬学部薬物治療学研究室、塚元和弘教授による、「薬学部の今後と薬物治療学の紹介」と題して、薬学部の動向とゲノム創薬に取り組んでいる同研究室の紹介についての講演がありました。その後の懇親会は、いつものごとく、年の差を超えたなごやかな雰囲気のもとで楽しいひと時を過ごしました。

現在ぐびろ会の会員は正会員931名が登録されていますが、参加者は毎年40名前後でかなり少ないのが現状です。同じ長崎に住んでいながらもなかなか会えないものです。このぐびろ会を通して会員の近況報告、情報交換の場にして頂けたら幸いです。

また、来年の6月10日(土)は平成29年度長薬同窓会定期総会がホテルニュー長崎で開催される予定で、ぐびろ会がお世話役をさせて頂くことになっています。全国から多数の同窓生の来崎をお待ちしております。

(参考資料)

平成28年～29年度ぐびろ会役員

顧問	伊豫屋偉夫(昭41)
	山中 國暉(昭43)
	濱田 哲也(昭54)
会長	中嶋 誠一(昭49)
副会長	岩永 真理(平6)
会計理事	大山 要(平12)
庶務理事	森本 仁(平5)
会計監査	井石 政之(平4)
理事	猪平 民雄(昭47)
	田原 務(昭51)
	白川奈奈子(平1)
	神近 竜二(平9)
	最上 元(平11)
	萩森 政頼(平13)
	澤勢 瑞城(平15)
	桑田 拓也(平21)



クラス会および近況だより

畑山 範 教授最終講義・退職記念祝賀会

石原 淳 (特)



畑山 範先生は、平成28年3月31日をもって薬学部を退職されました。

畑山先生は、昭和54年に東北大学大学院薬学研究科で薬学博士の学位を取得され、米国ハーバード大学で博士研究員として研鑽を積まれた後、昭和56年から東北大学薬学部助手、平成5年から徳島文理大学薬学部助教授として勤められました。平成6年4月には長崎大学薬学部入江 寛教授の主宰する薬品製造化学研究室の助教授として赴任され、平成9年に長崎大学薬学部教授に就任されました。以来19年間に渡り研究と教育に邁進され、多くの学生を世に送り出されました。

平成19年度からは4年間に渡り薬学部長を、また平成23年度から2年間長崎大学副学長として尽力され、大学運営に大いに貢献されました。また、学術研究面におかれましても、高選択的な分子構築法の開発やそれを基盤とする数多くの生物活性天然物の全合成を達成し、これらの成果により平成26年度日本薬学会学会賞を受賞されています。これは我が国の薬学分野において最も権威ある

賞であり、本学では初の受賞となりました。さらに日本薬学会理事、日本薬学会化学系薬学部会部会長を務めるなど学会活動にも尽力しその活性化に貢献されています。

畑山先生のご退職にあたり、3月4日に薬学部多目的ホールにて最終講義を開催しました。先生は1時間半に渡り、学生時代から現在に至るまでのお仕事を丁寧に解説され、多くの教職員や同窓生、在校生が、その独創的な反応開発と発想豊かな天然物全合成の研究展開に魅了されました。その後、場所をホテルニュー長崎に移し、祝賀会を開催致しました。祝賀会では片峰学長や薬学部教員、教授就任後にお世話になった学生を中心に100名以上の方々にお集まりいただきました。入江前教授も遠路はるばるお越し頂き、挨拶を賜りました。実は当日の朝、畑山先生は38度を超える発熱があったそうですが、そのような中、畑山先生や入江前教授を含む多くの同窓生が二次会まで参加され、夜遅くまで歓談は尽きませんでした。

畑山先生は4月から長崎大学先端創薬イノベーションセンターの有期雇用の教授に就任され、引き続き少し離れた立場から我々を叱咤激励されています。まだまだご活躍されておられる先生ですが、これまでの先生の熱いご指導に深く感謝申し上げますとともに、先生の今後のご健康を祈念いたします。



畑山範教授退職記念祝賀会 平成28年3月4日 於 ホテルニュー長崎

最後の同期会（昭和31年卒）

近藤 基（昭31）

6月2日14時、長崎駅前集合。卒業60周年、最後の同期会を6月2日～4日、長崎島原に2泊3日のスケジュールで開催となった。

去年は東京、ホテルパシフィックで（出席者11名）1
去年は京都、都ホテルで（出席者15名）であった。昭和31年卒業の年がオリンピック開催年であったため、「4年ごとに集まろう」、で出発し、いつしか2年ごと、毎年となり、10年の節目には、必ず長崎で開催して来た。50周年は2泊3日、長崎雲仙と花月で開催した。メンバーの高齢化に伴い、参加者の減少が続き、有志会として集った時もあった。「今後の継続は難しいのではないか。60周年記念を最後の同期会として終了しよう。」と世話人、森 健治、西村ヒサ子、中尾保敏、本村邦敏さんの企画立案により、同期への参加を呼掛け、根回しで決定された。

<1日目>

当日長崎駅集合場所では、早くから、満面に笑みを浮かべて、再会を喜び、握手し、その手がなかなか離せない。参加者は17名、会場は稲佐の長崎ホテル清風。ホテル送迎バスで移動、18時よりの会にそなえ、風呂、化粧、休憩。卒業60年を祝っての記念写真。

司会の森 健治さんからは、クラス物故者のある1日のエピソード、思い出を一人一人紹介、皆様のご冥福を祈って黙祷を捧げた。幹事の中尾保敏さんからは、同期会の歩み、最後の同期会となる経緯説明と挨拶。続いて乾杯し開宴となる。

郷土料理（卓袱）地酒、ビール他に舌鼓を打ちながら、学生時代にタイムスリップ。盛沢山の話で話は尽きな

かった。最後は山口剛志さんの音頭により校歌を斉唱。場を11階のナイトスポットクリスタルラウンジに移し、世界新三大夜景を改めて眺め楽しみながら歓談を続けた。

<2日目>

朝食後、ホテル玄関前で記念写真を撮り、長楽同窓会柏葉会館。薬学3年間を学んだ昭和町旧薬学部前では、元気余って「万歳！」のハプニング。

教養部のあった大村へ移動。大村公園では、白と赤紫、青紫と艶やかな花菖蒲が咲き乱れていた。露店も多く立ち並び、花見客も訪れ賑やかで、迷子になるほどの人出であった。玖島崎に丘の上、旧大村教養学部跡は、現在高校となり、懐かしい木造の寮はなかった。当時、食料、燃料（暖房）不足で、調達上手の寮生が、サツマ芋、木炭を入手して料理し分配してくれたのをなつかしく思い出す。又各学部の寮生と交友出来た思い出多い寮生活であった。

昼食は近くの長崎インターナショナルホテル、和食堂で、室町時代発祥の押し寿司“大村寿司”錦糸玉子がたっぷり、ほんのり甘めの味、小サイズで、上品な品、加えて天ぷら、五島うどんと長崎の味を堪能した。

本日の宿泊地、小浜温泉を目指し、途中、千々石湾の眺めの良い愛野展望台で休憩。続いて橋神社に参拝。3年生の時、之から雲仙登山をしたのを思い出す。

夕日の美しい小浜温泉の伊勢屋旅館に到着。先ずは湯に入る。塩化物泉、高温、癒しの湯といわれている。

宴は、幹事の本村邦敏さんの挨拶で始まった。千々石湾で取れた魚貝類を中心の舟盛の豪華な料理“おなよ



平成28年6月2日（木）長崎 ホテル清風

い”を賞味。カラオケで江本、山口さんの美声と伊藤さんの元気な一本締めで宴は終了。二次会は幹事部屋に移し、この日も話は尽きなかった。

<3日目>

朝からの雨天となり、幹事さんは雨具の準備、本日の予定の世界文化遺産候補ジオパーク島原半島めぐりのスケジュール調整で出発を遅らせた。明治日本の産業革命遺産の口之津海上技術学校。キリシタン原城跡、日野江城跡は雨のため下車出来ず、車窓からの見学。島原雲仙噴火民家跡地見学は奇しくも、雲仙噴火25年目の翌日に

あたる日で、雨天にもかかわらず、見学者多数で賑っていた。

昼食は、島原地方の郷土料理“具雑煮”具の種類が少なく、やたら白菜が多かった。

帰路は、諫早駅、大村空港、長崎駅へバスが立ち寄り、それぞれ家路に向かった。

最後のクラス会、楽しく参加でき、本当に良かった。ずうっと、楽しいクラスで幸いでした。残りの人生も“今我楽しまずんば、歳月馳する如し”曹否に学び、過して行きたい。

参楽会（昭和33年卒）の開催

辻 孝（昭33）

今回、平成28年の長楽同窓会総会が福岡市で開催される事になり、そこで折角の機会を生かして、総会の前に福岡地区メンバー4人が世話人となって「ミニ参楽会」を計画し、福岡県、佐賀県、長崎県、及び近県のメンバー21名に呼びかけ、14名の参加となりました。

前回の長崎以来の参楽会で久しぶり話がはずみ、出席者皆さんの近況報告や全員80歳をクリアしていましたが、学生時代にかえて大変賑やかでした。

その後、来年の総会が長崎で予定されているので、その機会に「参楽会」開催の要望が出て楽しみが増えました。

「ミニ参楽会」終了後総会の会場に、福岡天神地下街をブラブラしながら移動総会へ参加し、世話人の方や、地区の先輩、後輩、友人、知人との挨拶に懇談にと多忙で

した。

総会の翌日、女性の出席メンバーは全員で「ミニ参楽会」女子会を結成し、日高ご夫妻のお世話により飯塚地区の白蓮で有名な炭鉱王「伊藤伝右衛門」邸等を中心に見学し、炭抗節で有名な高いエントツのある田川地区を探索し名もなき炭抗夫「山本作兵衛」世界記憶遺産の絵の展示がある田川炭抗博物館を訪ねたが平成29年4月オープンとのことで楽しみを次に残しました。その後来年の長崎での参楽会を楽しみに女子会を解散。

「ミニ参楽会」参加者、14名（敬称略）

熊本公子、内堀繁吉、工藤二郎、千原美佐保、辻 孝、角田正之、仲尾次廣子、西脇金一郎、小島恵子、村木フクエ、深井宣晶、佐々木恵子、日高喬子、牧 弘人史。

以上



三葉会（昭和34年卒）の開催

松尾 幸子（昭34）

平成28年の三葉会^{サンヨウ}は福岡県久山温泉ホテル^{ヒサヤマ}夢家^{ユメカ}において10月15-16日開催。卒後50年で当会は終止符を打つ予定でしたが、一年に一度のこと、卒後57年になる今年も旧交を温めながら来し方を語り合い至福のひとつきを過ごしました。一人でも多く参集しやすいうように福岡で開催しようと安永ハルミさんが幹事を引き受けて下さり都合19名参加、近年としては珍しく多数の学友に再会できました。

博多駅に集合、送迎バスでホテルに着き先ず旅の疲れを温泉でほぐしました。当ホテルの温泉は、薬湯、真珠風呂、ワイン風呂、天降石風呂など種々の温泉が名物のようですが、宴会開始時刻までに幾つの温泉に浸られたでしょうか。当ホテルの類いは苦手なんだ、と言われ、ホテルの選択に問題ありかとその理由を尋ねると、宴会場が和室であることらしい。高貴（後期）高齢者カードを持する我々年齢では着座が儘ならぬことも老の現れなのでしょう。宴会では料理に舌鼓をうち会話が弾みまます。いつもは余興にカラオケやダンスの披露をしていた人は、思いがけない怪我で華やかな見せ場ができなくなり、老いのかけらを感じさせる面もありました。案内ハガキの返信近況報告一覧表を見ながら、病を抱え参加を思い止まった仲間へ思いを馳せながらも活発に口の運動すること二時間半、その後例年通り別室に移り二次会になります。これまでと大きく異なった事は居住地の東

京、四国、京都、山口、長崎など各地からのお土産には目もくれず、ヒバリの囀りの如し。話題は物忘れ、捜し物、覚えの悪さなど老化現象を語るかと思えば、遠く離れていながら視聴した興味深かった同じテレビ番組について感想を語り合うなど、賑やかに夜を過ごしました。卓上に置かれた山積みのお菓子は袋に詰め各人に分配することは恒例のこと、中味は家路に着いてからの楽しみとなる習わしです。若いときは明け方まで語り合っていたのに、日付が変更するや否やお開きになるとは、さすが身体の衰えは否めないようです。

翌朝は二階建てオープンバスで福岡市街を観光、空模様が気になり配布されたエンゼル姿に扮するビニールレインコートの役目は殆ど果たすことなく約一時間の乗車。ビルの谷間路上から見る街の風景とは異なり、オープンバス座席からは建造物の表情や位置関係が見られ博多の別の顔を楽しみました。昼食は帰路に便利ように博多駅デイトスにある店で玄海魚のにぎり寿司を賞味したあと解散。博物館へ廻る人もあれば、飛行機や新幹線で家路に向かう人、再会を願いながら三々五々別れました。

傘寿を迎え、移動する歩調が緩やかになったものの、クラス会に参加できる身であることに感謝したいと思います。来年は学生時代を過ごした青春の原点長崎に集合することになりました。健康に留意し、多くの学友との再会を願いつつ拙文にて報告役を終わります。



今少し西方でやすらかに待っていて下さい。

北島 四郎 (昭35)

山本 剛君、貴君の訃報に接し、何時もクラス会であんなに明るく振舞っては座を盛り上げて呉れていた姿が脳裏を横切ります。前回は、お目にかかれなかったなと気に掛けてはいましたが、まさか共々に明日は我が身でもの歳頃とは言え私よりも先に、なき数に名を留めようと急がれたとは、理由はともあれ無念無情さを感じずにはおれません。現役時代は互いに想像だにできなかったけど会社が合併し大日本住友製薬が出来、もし合同のOB会が成ったら同席も有りうると語り合ったのが数日前

の様に思われます。そうでした、思い出せば4年生の春頃でしたかアルコールが全然ダメなので練習したいので付き合っただけと欲しかったので、下宿も同じだったし何度か飲み屋さんへ行くうちに話題の展開や酒量や雰囲気作りの才能が開花し、凄い程の上達さで後日「飲まず嫌いだった」と悔やんでいましたよね。あの頃からもう半世紀なのか、まだまだ半世紀なのか……、前々のクラス会でお互い元気でなと握手で別れたことが目に浮かびます。合掌

俳句の中の薬 - どくだみ

白松 一良 (昭36)

最近、俳句はテレビの特番にも組み込まれ好評を博している。TBS系の「プレバト」では、芸能界の人気タレントが出演し与えられた季題に挑戦し、俳人・夏井いつき師の歯に衣を着せぬ評価と添削を受け、苦しみながらも楽しんでいる姿が面白い。一回毎に受講者が才能ありか無しかで一喜一憂し、評価が高まれば名人位を昇段するが駄作を出せば降格すると言うのも興味深い。

ここで登場する句は定型俳句である。定型俳句は歴史的に古くからあり、その母体となる俳諧は江戸時代に遡る。明治時代になって正岡子規が俳句と名づけ、五・七・五の17文字で表現し、季語を必ず加えることを約束事とした。

薬降る園や山吹咲き残る 正岡子規
十葉の匂ひの高き草を刈る 高浜虚子

一方、自由律俳句は比較的新しく、大正時代に萩原井泉水が定型と季語の約束にこだわらない流れを提唱したのが始まりとなる。正に作者は自由に作品を作ることができる。双方に共通するのは作者の感動のリズムと詩性が無ければならない。

屠蘇を飲ませもして淋しき妻とふたり 萩原井泉水
しづかな道となりどくだみの芽 種田山頭火

俳句で薬あるいは生薬を取り上げている句は以外に少ない中、目立つのは「どくだみ」で夏の季語とある。一般的には「どくだみ」または「十葉」だが、ある時は「葎草」、「葎菜」と著わされる。元来、毒嬌み(毒



を押さえる) から来ている。中国語は魚腥草(生臭い草)、英語の fish mint という表現もある。花言葉は「野生」、「白い追憶」。白くて清楚な十字の花(実は中心にある棒状の淡黄色の小花を保護している総苞片)であるが故に句にも多く詠まれている。また、半日陰地を好み独特の香りを放ち繁殖力も旺盛な所にも存在感がある。定型句、自由律句に拘らず「どくだみ」の句を以下に紹介すると……

十葉の花の十字の梅雨入りかな 石田波卿
十葉の香の夕ぐれをかが(足に局)みる

阿部みどり女

十葉を抜き捨てし香につき当る 中村汀女
十葉の花ほつほつとはつはつと 万太郎

ここもそこもどくだみの花 山頭火

どくだみや真昼の闇に白十字 川端茅舎

どくだみの戸口を鎖す廃家かな 遊雀

どくだみの密生神を斎(いつ)く庭 山口誓子

平成の作品では……

好き嫌い激しく生きてどくだみ咲く 島田茶々

あるが儘の庭と十葉あるがまま 船渡正子

抜いても抜いても葎草の根性 阿部美恵子

どくだみを離れて薬に関する句としては……

薬草園の薄荷をちぎり暑を弾く 小泉三枝

二錠ずつ切りたるシート薄氷 北大路京介

松尾芭蕉は、元禄2年奥の細道の旅中、越後高田の医師・細川春庵亭に宿泊し色とりどりの薬草の花が咲いていた薬草園を案内された時の一句……

薬欄にいずれの花を草枕 芭蕉

芭蕉の臨終の前夜、門下生らが薬草を煎じて看護している中芭蕉が最期に褒めた句は……

うづくまる薬の下の寒さ哉

内藤 丈草

丈草はそれまで一度も芭蕉から褒められたことが無かったが、寒い土間で必死に師匠の回復を祈りながら薬を煎じている時この句が浮かんだと言われている。胃腸が丈夫ではない文士が薬に頼った話はしばしばある。その一人中村草田男は夏になると体調不安から毒消しつまり整腸剤を飲むことが多かったようだが、飲んだあとはどンドン俳句をつくるぞとの意気込みが湧いて……

毒消し飲むやわが詩多産の夏来る 草田男

胃潰瘍といえば、夏目漱石は胃腸薬を片時も放せなかった。修善寺で療養中、大量の吐血で危篤状態になった。幸いにも対応が早く一命を取り戻すが、後にその苦しい時を思い起こして……

腸に春滴るや粥の味

漱石

さて、日本社会の高齢化は益々進んでいる。年齢と共に薬の世話になることが多くなって、国民健康保険に占める薬剤費も年々上がっている。そのしわ寄せが高齢者の医療費負担率10%を上げようとの傾向に繋がっている。

薬に頼らないで、体力をつけて行こうという句として……

古希すぎて残る人生薬喰

薄水

「薬喰」とは薬をやたら飲むのではなく、元気に生きるために肉類を食べるといふ冬の季語らしい。元気なうちに、美味しいものを食べ楽しく趣味に興じることが出来れば一番の幸せではないだろうか。斯くありたい今日この頃である。

- 完 -

28年度長薬37卒（大薬10回）同期会だより

28年5月15～16日実施

小野 仁（昭37）

前年の同期会は、箱根に予定していましたが、大涌谷の噴火のため、決行が難しく、已む無く中止致しました。今年度（28年度）は、今や世界的に「有数の大都会」へと進展し、又古い歴史を多く残す東京で同期会をやっては、との皆さんの要望があり、近代の東京と昔のお江戸を共に満喫できる場所、「浅草」を選びました。

浅草は、東京で最古の寺、浅草寺の門前町として、江

戸時代から現在にかけて面々と繁盛している町です。雷門から仲見世街を通って浅草寺までは、観光のゴールデンコースです。雷門の前に立つと眼前に、スカイツリー（近代技術の粋を集めた）が悠々とそびえ立っています。新旧の調和は見事です。

宿泊は、江戸情緒をたっぷり味わって頂くと共に、2020年オリンピックへ向かって、大変革しようとしてい



平成28年5月15日 於 助六の宿 貞千代

上段左から 平、本田、林、高井、松田、池田、吉田（古川）、小野

下段 馬場、中西、松崎、寺尾（秀坂）、中山（貞松）、有村（大渡）、野村

る新東京を味わって頂きたく、お江戸の中心、浅草の宿を選択しました。旅館（ホテルではない）は、江戸浅草の中心地、作家「池波正太郎」の定宿、旅館「助六の宿・貞千代」にしました。そこは、玄関を入るや否や、今にも「鬼平犯科帳の長谷川平蔵」が出て来そうな江戸情緒満点の宿です。和式の旅館で、館内も江戸時代の雰囲気満載（花魁、遊女等の絵画が至る所にあり、お風呂は檜の浴槽）正に江戸時代に戻った風情が一杯です。

さて、宴会も江戸情緒にどっぷり浸りたく、幫間（たいこもち）の出演を依頼して、幫間と出席者全員が、面白可笑しく対話を交わし、江戸時代にタイムスリップしたようなひと時を味わいました。*（幫間は、現在国内には7人しかいない、と言う事で貴重な演芸になっています。）

宴会での飲み物は、池田氏の計らいで、本場鹿児島の高貴な焼酎をダースで差し入れて貰い。1次会、2次会と、大いに盛り上がり、江戸にて薩摩焼酎、徳川の江戸と薩摩藩との合体で、大変な盛り上がりでした。

丁度当日が、日本三大祭りの一つとして有名な、浅草三社祭と重なり、街中あちこちで御神輿を担いで、“ワッ

ショイ、ワッショイ”のかけ声で大賑わい。浅草三社祭は、何時もは、5月最終の土日なのですが、今年は、サミットの関係で1週間繰り上がり、丁度37同期会開催日に当たります、37同期会を、江戸の町中で祝ってくれている様でした。

お土産には、旅館より各人に氏名入りの貴重な「江戸木札」を戴き、皆さんお江戸を満喫して頂いたようです。

翌日は各人自由行動とし、スカイツリー、浅草寺詣、雷門人力車にて周辺散策、浅草仲見世街、上野美術館、銀ブラ、大変革した日本橋、東京駅八重洲街、丸の内街等々、東京見物で楽しんだ事でしょう。

これから東京は、五輪開催に向かって、ここ数年更に大きく変化が起こります。新旧合体した新東京が生まれることでしょう。是非皆さんもオリンピック開催前に一度東京探索をお勧めします。

出席者：15名

松田、池田、野村、馬場、本田（米国より）林、高井、平、寺尾（秀坂）、中山（貞松）

幹事：中西、原田、小野、有村（大渡）、吉田（古川）

長葉昭和41年卒業後50周年同期会を開催

伊豫屋 偉夫（昭41）

昭和41年3月に長崎市昭和町にあった長崎大学薬学部を卒業して今年で50年になるのを記念して、卒業後50周年クラス会を平成28年5月21日～22日に学生時代を4年間過ごした長崎市で開催しました。

多くの参加を期待していましたが、現役で働いている方、本人の体調が不良の方、親・配偶者等を介護の方等々で、参加者は関東からの5名をはじめ、大阪、広島、北九州、福岡、長崎県内等から男性12名、女性5名の17名でした。

当日は晴天に恵まれ、集合時刻の半時間前には集合場所の長崎駅前に飛行機・JR・バス等で到着した面々が集まっており、久しぶりの再会に話が弾んでいました。全員集合を確認し送迎バスで稲佐山観光ホテルに向かい、一風呂浴びて夜の宴会に備えました。

宴会会場には、増井君、松本君、井関さんと長崎東高で同期だった小林稲佐山観光ホテル会長が待っておられて、55年振りの再会を楽しんでいました。また、小林会長からは焼酎等の差し入れがあり宴会で飲ませていただきました。

宴会が終わると屋上に上って世界新三大夜景の長崎の夜景を眺め記念写真を撮りました。

二次会は幹事の部屋で、卒業アルバムを見ながら50年前の学生時代の出来事に話が弾みました。また、恒例の早崎君の尺八、原田さんのハーモニカ、それに今回は50

周年に向けて練習してきた松本君のオカリナが加わった三重奏をバックに、原田さんが作成した歌詞カードを見ながら「上を向いて歩こう」「いつでも夢を」など昭和の歌を皆で歌い50年前にタイムスリップした時間を過ごしました。

翌日は、まず、昨年長葉創立125周年記念事業の一環として建立された「昭和町校舎跡記念碑」を見学し、昭和町の長崎大学教育学部附属小学校に行きました。当日は小学校の運動会の真最中でしたが、教頭先生、守衛さんのご配慮で駐車場も確保していただき、校舎跡を見て回ることが出来ました。車から降りると今年春に心臓手術をして同期会を欠席していた太田さんが待っていて、皆びっくりするとともに、短い距離でも元気に歩けるようになって良かったと言って、いろんな話に盛り上がりました。

その後、住吉、大橋を通過して平和公園で車を降り、平和記念像、平和の鐘、平和の泉等を見て回り、新しくできたエスカレーターで松山を下り、原爆公園で原爆記念碑に黙とうをして、木陰のベンチに腰掛けて涼みながら学生時代の思い出話に華が咲きました。

昼食は原爆公園の近くの中華飯店・寶來軒別館に行き、春雨スープ、春巻、皿うどんなど中華料理のフルコースを堪能しました。

寶來軒を出て、次回の再会を楽しみに解散し帰宅の途につきました。



金田君を偲んで。

小林 茂 (昭45)



クラス会には皆勤賞の金田君が欠席の返事であったので電話を入れると膀胱ガンの手術で、10時間に及ぶ大手術を受け、その後放射線治療を受けているという。そして平成27年9月19日に奥様から逝去の報を受けた。

写真は雲仙で行ったクラス会のときのものである。

東京出張の折り何度か連絡をするとよく時間を取ってくれて夕食を共にした。仕事の途中で抜けてきたのかなと思うこともあった。日にちのはっきりしたものでは、浅草のどぜう屋で食事の中で、それは湾岸戦争に突入した日であった。何でドジョウ屋にテレビがあったかと、あとで考えると可笑しいが、そういう店の造りであった。彼は確かクラスでいちばん若かった。感情を顔に出さ

ず、判断力はしっかりしたものであった。学生時代には下宿へよく押し掛けて話をしたものである。彼が焼津に住んでいるときのことであったが、高島先生が公衆衛生院にいらっしゃる頃、1か月半研究生として出張在籍したとき、関東薬学会へ出席する機会があり石和の方へ行ったことがある。高島先生は機嫌がよく、長崎を懐かしんで「浜じゃ」をお歌いになったのが印象的であった。その後で焼津へ訪れたが、思った以上に時間がかかり7時頃であったろうか遅れて着いた。その時はテーブル一杯に料理を並べてあったが、時間が無く彼及び奥様にはご迷惑かけてしまった。康治君は古希を目の前にして無念であったろう。安らかな眠りをお祈りする。

追って、一年祭にあたり光子夫人よりお手紙を戴き、それによると、お墓に「AB ARTO AD ALTUM高きより高きへ」と刻まれております。長崎で学んだ思いを生涯心のどこかで忘れることなく、この言葉を本人が刻み込みました。(以下略)とありました。

43年入学・47年卒業 同窓会 於 大分県日田

小寺 信 (昭47)

前回の同窓会(平成27年3月)で次回幹事に指名された大間君は佐賀在住で近くに同窓生は居らず、遠く福岡在住の私と蓑田さんが加わり3人で候補地選びに取り掛

かりました、テーマは蓑田さんの発案で「温泉と鵜飼」。

最初は、筑後川沿い福岡県の前鶴温泉を考えていましたが、交通のアクセスが悪い事、翌日の観光地が無い事、



平成28年9月24日 於 日田山水館屋形船宴会

そして日田出身の小林君の奥さんのアドバイスもあり15キロ上流の日田で行うことになり、大間君が現地を視察して、会場も日田温泉の「山水館」と決定しました。

平成28年9月24日当日は、週末毎に台風が来ていたの心配していましたが、薄曇りで暑さも弱まり絶好とまで行かなくとも良い日和となりました。

5時の受付でしたが3時には早くも金子君が来て、5時半には、ほぼ全員26人が揃い思い思いに温泉に浸かったり付近を散策したりした後、浴衣に着替え屋形船の前で記念撮影。鵜飼がよく見えるよう女性を外側に男女向かい合わせに座ってもらい、三隈川に漕ぎ出し宴もたけなわの頃にはすっかり暗くなり、明かりを消した屋形船の周りを篝火を点けた鵜飼船が鵜を潜らせながら廻ってとても幻想的でした。

二次会は、経費節減の為？大広間にテーブルを並べて、その上に買って来た酒類、摘みを置いただけでしたので、はじめは「摘みが貧相」との声も聞こえましたが、学生時代の下宿飲み気分に戻って、あちこちに集まって夜遅くまで談笑いたしました。

翌日、雨の予報だったのですが、これ又薄曇りでさ程暑く無く、旅館のご主人自ら運転するマイクロバスに分乗して市内観光へ、先ずサッポロビール工場へ、生産ラインは動いて無かったが、巨大な蒸溜釜、ビール缶の成形工程の展示などを見学した後、日田の町を一望しながら飲む出来立てのビールは最高でした。

旅館のご主人は、観光案内のボランティアをされてて、観光地「豆田町」に向かうバスの中で、江戸時代、日田は九州の金融、情報、幕政の中心で長崎も日田の郡代に属していたと説明され驚きました。次に当時（200年前）日本最大規模の私塾「咸宜園」（カンギエン）へ、塾生の意志や個性を尊重する教育理念の基、塾生は地元豪商の奨学金を受けバイトしながら勉学に励んだとの事でした。次に「雛御殿」へ、江戸時代（享保、天保）の雛人形、等身大の雛人形等3,500体の雛人形が展示してあり圧巻でした。他にも観る所は沢山ありましたが時間がなく、昼食を蕎麦屋で済ませ、次回、京都での再会を約して解散いたしました。

追記、経費節減の効果で小額ですが皆さんに返金する事ができました。

長薬昭和50年卒同窓会を終えて

橋間 真理子（昭50）

シルバーウィーク初日の9月17日（土）、東京で同窓会が開催されました。今回は隅田川の屋形船「あみ達」を貸し切ったの粋な同窓会です。あいにく強い台風16号が九州に近づいていましたし、秋雨前線も関東に停滞していて、梶村さんを始めとする幹事さん達は毎日カレンダーとにらめっこの日々ではなかったでしょうか。

当日は今にも雨が降り出しそうな空模様でしたが曇

り。勝どき橋の朝潮小型船乗り場に18時45分集合、19時出発です。遅刻したら会場ごとなくなりますと事前に梶村さんから言われていたので、遅刻者無しでの出発です。

天ぶらを主にした美味しい和食を食べながら隅田川のお台場やスカイツリー、レインボーブリッジを巡る2時間半。出席者の近況報告を聞くことも楽しみの一つです。



平成28年9月17日 於 屋形船「あみ達」

初めて参加された宮本（堀）育子さんと越智（南條）スミ子さん、嬉しい40年ぶりの再会でした。熊本市在住の宮崎賢三さんは4月の熊本地震で被災され車中泊をされていたそうです。仕事を続けている人、ご両親のお世話をしている人、病気を克服した人、余暇を有意義に使って自分磨きをしている人等々みんなの生活は様々ですが、話題は満載でした。

途中、船が停泊してくれるので2度皆でデッキに上がりました。長崎に住んでいる私にとっては歓声をあげるような素晴らしい東京の夜景です。是非東京オリンピックを成功させて欲しいと改めて感じた瞬間でした。

2日目は、はとバスツアー「帝国ホテルと東京スカイツリー」です。残念ながら私は参加できなかったのですが、築地場外市場でのショッピング、帝国ホテルでの昼食、スカイツリー展望デッキなど盛り沢山の楽しいツアーだったようです。梶村さんを始めとする幹事の皆様、本当に有り難うございました。思い出に残る素晴らしい同窓会でした。

私たちの昭和50年卒同窓会は5年毎に開催されてきましたが、2010年長崎で開催されてからは2年毎に開催されています。2012年の小倉、2014年の北海道、そして今回2016年の東京。幹事さんのおかげで毎回大盛況です。

今回の参加者は1日目36名、2日目25名でした。

参加者：順不同・敬称略(旧姓) 田邊(秋川)早百合、寺蘭(浅井)直子、松田(石田)尚江、北村(河村)美江、岡部(木下)裕子、梶山(嶋田)伴子、橋間(高瀬)真理子、三島(坪根)みずほ、西(寺沢)由美子、長田和敏、越智(南條)スミ子、後藤(浜田)とみ子、宮本(堀)育子、増田和久、黒田(溝上)百合、松尾(用田)登喜子、徳永(有永)由美子、石田照彦、位田雅保、上ノ段 茂、梶村(梅尾)郁子、梶村 博、角 邦男、山田(川神)貞子、木野省三、松本(黒崎)美智子、黒田正幸、白石武利、橋間康明、福田博美、藤竿伊知郎、藤武隆文、岸田(藤田)眞智子、中嶋(松下)七重、松田米人、宮崎賢三

さて、次回2018年は皆さんのご希望もあり長崎に里帰りです。

ランタンフェスティバル開催中のためホテル状況が難しく早めに確保したいと思い10月2日(日)1回目の幹事会を開きました。

その結果、次回同窓会は2018年2月24日(土)～25日(日)に決定しました。

一人でも多くの方の参加を期待します。

昭和56年卒業生の皆さん、ご無沙汰しています

山口 正広(昭56)

昭和56年卒業の同級生の皆さん、ご無沙汰しています。同級生の山口です。

昭和56年に卒業してから今年(平成28年)で35年目となりました。卒業20年目である平成13年から5年ごとに同窓会を開催しているところであり、平成23年に開催した卒業30周年記念同窓会から5年が経過し、そろそろ35周年記念同窓会が開催されるのではと期待しておられた同級生もいらっしゃるのではないのでしょうか。

毎回幹事を仰せつかっている私としながらも、「いつも一緒に準備を進めていただいている方々と話し合いを持ち、準備を進めよう。」と思ってはいたのですが、4月の人事異動で新設された課に異動になったことや、父親の介護の関係もあって行動に移すことができず、今に至ってしまいました。

今のところ、来年(平成29年)には開催したいと個人的には考えており、いつも一緒に準備いただいている方々と時期や場所について決めていきたいと考えています。

現時点では、5月のゴールデンウィークを除く連休(土曜日[祝日]～翌日曜日、または、日曜日～翌日曜日[祝日])の1日目に、長崎市内で開催できればと

思っているところであり、準備や業務の都合等を考えると、7月16日(日)～17日(月:海の日)、10月8日(日)～9日(月:体育の日)あたりが有望ではないかと考えています。

日時、場所が決定次第、同級生の皆さんに案内したいと思えますし、開催時期や場所についてご意見、ご要望等があれば山口までお知らせください。検討にあたっての参考にさせていただきます。

さて、今年(平成28年)は、4月の熊本地震をはじめ10月の鳥取地震、東北・北海道地方に甚大な被害をもたらした台風災害など、全国的に災害が多い年でした。被災された方々にはお見舞い申し上げますとともに、早い復旧、復興を祈っている次第です。

そのような中、熊本地震で被災された地域の復興に少しでもお役に立てればと思い、8月28日(日)～29日(月)の1泊2日で、熊本へ旅行に行ってきました。4月の熊本地震で楼門や拜殿等が倒壊した阿蘇神社にも立ち寄りしましたが、状況としては、見るも悲惨な状態でした。平成28年11月1日より復旧工事が本格的に着工されたようであり、早い復旧を祈る次第です。

宿泊については、黒川温泉わかば旅館に泊まりまし



倒壊した阿蘇神社拝殿（平成28年8月28日撮影）



被災前の阿蘇神社拝殿（平成27年8月26日撮影）

た。わかば旅館の方のお話によると、黒川温泉でも熊本地震で被害を受け、まだ営業されていない旅館もあるとのことでした。実は、昨年（平成27年）も8月に熊本へ旅行に行ったのですが、その時に宿泊した南阿蘇村の垂玉温泉山口旅館は、がけ崩れ等の被害を受け今でも営業されていない状況が続いているようです。

熊本地震の影響は、隣県である長崎県の雲仙温泉や小浜温泉でも、客足が減るなどの影響が出ており、「九州ふっこう割」や「九州応援キャンペーン」など、いろいろ

ろな取組がなされています。災害の復旧、復興には相当な時間を要すると思いますが、多くの方々が、被災した熊本や影響を受けている長崎などに観光で訪れていただくことが、地域の復興につながっていくものと思います。来年（平成29年）は昭和56年卒業生の同窓会を長崎で開催する予定ですので、多くの方に参加いただき、できれば熊本や雲仙などにも足を伸ばしていただければと思います。お待ちしております。

最後の「シバカリ会」、そして初めての「コニシバ会」が 温かな雰囲気にもまれて開催されました

中嶋 幹郎（昭57）

平成28年10月23日（日）、長崎市内の「ホテルニュー長崎」において、2年ぶりに「シバカリ会」が開催されました。

この「シバカリ会」のことを40歳代以上の長葉同窓生の皆さんはご存知と思いますが、若い同窓生のために、どのような会であるかを初めに説明しておきます。

本会は長葉の名門中の名門?? 薬剤学教室の先々代の教授・柴崎壽一郎先生の教え子の集まりで、私が長崎大学に入学するずっと前の昭和40年代から続いている歴史ある同門会です。会員数は昭和30年代後半の卒業生の先輩から平成に入ってから卒業生の後輩まで200名を越えています。私は母校である長崎大学薬学部勤務していることもあり、長年にわたり「シバカリ会」の連絡係を務めています。

柴崎先生は平成26年夏にお亡くなりになられましたので、今年は先生の3回忌に当たる年です。柴崎先生が亡くなられたので、先生の教え子の皆さんは「シバカリ会」がこれからどうなるのか? と心配していたことと思いますが、「シバカリ会」会長の伊豫屋先輩（昭41:前長葉同窓会会長）から、柴崎先生の教え子の集まりである「シ

バカリ会」の名称を、柴崎先生と小西先生お二人の恩師の先生方へ感謝の意を届けたい教え子の集まりであるということから「コニシバ会」へ変更し、今年傘寿を迎えられる小西先生の傘寿をお祝いする同門会として秋に開催しようとの提案がありました。

小西良士先生は、薬剤学教室の助教授として柴崎先生とご一緒に長年教室を支えておられた先生で、現在でも帝国製薬技術顧問、香川大学医学部客員教授などの要職に就いておられる先生です。またこれまで「シバカリ会」には、ご夫妻で欠かさず出席されてこられました。

そこで今回は、小西先生の傘寿をお祝いする会として「コニシバ会」開催の案内をさせて頂きましたところ、26名の教え子が全国各地から集まり、小西先生ご夫妻を囲みながらとても温かな雰囲気のなかでの宴席となりました。

開会の挨拶の中で、伊豫屋先輩から「コニシバ会」へ名称変更する形で「シバカリ会」の集まりを継続していきたい旨のお話があり、もちろん全員が賛成し、小西先生にもお認め頂きました。乾杯をされた「シバカリ会」事務局長の山中先輩（昭43:長葉同窓会会長）から、「コニシバ会」発足にあたり役員交代の発議があり、新会長

には佐々木先輩（昭53：長崎大学病院薬剤部長・教授）、事務局担当者としては三浦君（昭57）、中村君（昭59）、私の3名が指名されました。

宴席では、出席者全員がマイクを持ち、各自の近況を紹介し、亡き柴崎先生との思い出や小西先生との思い出を語ることができました。また小西先生のトークは健在で、会場は常に温かい笑いの渦に包まれていました。そして最後は新会長の佐々木先輩の一本締めでお開きとなりました。

さて、教え子の皆さんが気になる次回の「コニシバ会」ですが、小西先生も必ずご出席して下さいますので、長崎又は福岡にて開催することになると思います。今回、欠席された皆さんとは、是非、次回の「コニシバ会」でお会いしたいですネ。

今回も、実に楽しい栄養たっぷりの「コニシバ会」を、

教え子一同にプレゼントして下さった亡き柴崎先生と小西先生に感謝するとともに、柴崎先生の奥様並びに小西先生ご夫妻の益々のご健康を祈念して報告とさせていただきます。

今回の出席者は次の通りでした（敬称略）。なお、間違い等がありましたら何卒ご容赦ください。

恩師：小西良士先生ご夫妻

教え子：江藤（昭40）、松村（昭40）、伊豫屋（昭41）、平山（昭41）、山中（昭43）、護山（昭44）、小池（昭47）、田代（院48）、井手（昭48）、今村（昭49）、森（昭49）、小笠原（院51）、竹村（昭51）、高橋（院52）、小嶺（昭52）、野口（昭53）、藤井（昭53）、佐々木（昭53）、佐々木（昭55）、大田（昭56）、中嶋（昭57）、三浦（昭57）、井口（昭59）、中村（昭59）、鷺尾（昭59）、黒熊（平1）



長崎大学薬学部薬剤学教室同門会「コニシバ会」 平成28年10月23日 於 ホテルニュー長崎

昭和57, 58年合同同窓会改め懇親会二次会

松原 大 (昭58)

今回の合同同窓会を行うようになった経緯は、平成28年度長薬同窓会定期総会から遡ること2か月前、4月3日に長薬同窓会理事会があり、総会の案内などで池田光政会長(昭57)とともに来長した時からです。前日同期の宮崎幹雄君(昭58)と折角の機会だから一杯飲みますかと事前に連絡しておいたところ、同期の植山直美、登本優子、原 満江さん達きれいどころも来ていただき、池田さんも交えた楽しい会となりました(宮崎君ありがとう)。その時に、折角だから総会の後に、57卒と58卒の合同の同窓会をしたらどうかという話になりました。翌日、同窓会の理事でもある中嶋幹郎先生(昭57)に相談したところもちろんご快諾いただき、窓口として中嶋先生が、実務として松原が行うことになった次第であります。

平成28年6月11日、ソラリア西鉄ホテルにて開催された「平成28年度長薬同窓会定期総会」は、皆様のご協力・ご尽力をいただき、無事に終了することができました。松本康裕大先輩(昭24)の太刀捌きや、浦上真紀さんのジャズ演奏などで盛り上がりました。改めて御礼申し上げます。その勢いのままに引き続き総会会場の1階下の会場で、二次会がおこなわれました。

予定では、昭和57年、58年度卒業合同同窓会として案内しており、当日までの参加予定者は、各学年11名の22名程度でしたが、ふたを開けてみたら、たくさんの方に合流していただき、思いがけず、盛り上がった楽しい会

となりました。

まずは、この合同同窓会のために駆けつけてきていただいた長尾祐二さん(昭57)や東京からご参加の山下親正さん(昭57)、三村幸治さん(昭57)など、卒業以来お会いする方がたくさんおられ、とても懐かしく思いました。さらには、近畿支部長の梶野 繁さん(昭42)や同窓会副会長の七種 均さん(昭56)などの先輩方をはじめ、昭和59卒の森田宏樹、竹尾由美、中島徳子、金子富美、藤澤晶子さん、昭和60卒の大木 薫、末松紀美、宇佐美めぐみ、清澤 聡、富永伸明、原 正朝君(関東支部会会長)、昭和61卒の市村清隆君達。加えて平成8卒の赤間みどりさん、平成10卒の西村佳子さんなど、総会を実務的に運営していただいた皆さんもたくさんでした。40名を超えた参加者で宴会会場はいっぱいとなり、学生時代を思い出すには十分な空間となりました。

七種さんの乾杯に始まり、宮崎君の万歳三唱で幕を閉じましたが、終始賑やかで和やかな会となりました。その後の中州界隈の状況については、残念ながら把握しておりません。

卒業年度を超えての初めてとも思える合同同窓会に多くの皆さんに出席いただき、大変な盛会となりました。重ねてお礼申し上げます。またお会いできる機会を楽しみにしております！

中嶋幹郎さんの依頼により(文責：松原)



平成28年6月11日 於 ソラリア西鉄ホテル

昭和59年卒同窓会 in 別府

松尾 富士男 (昭59)

昭和59年卒の同窓会を大分別府で7月17日に泊まり込みで開催しました。場所は、老舗の「ホテル白菊」で、白亜の建物と日本庭園がとても印象的でした。参加者数は19名（女子15名、男子4名）で、皆さんそれぞれ別府観光を済ませてホテルにチェックインし、別館宴会棟5階の宴会場に集まりました。会場は広々とした洋間で横長対面2列のテーブル配置、上座には「長崎大学薬学部59年卒同窓会」の横断幕までぶら下がっているのには、立派すぎてたまげました（笑）。軸丸さんが先に宴会場に待機していて、最高の笑顔で迎えてくれました。

ほぼ時間通りに全員揃って宴会開始。還暦5年前カウントダウン世代とは思えないほどみんな若いのには驚いた！ 乾杯の後、早速会食。流石に別府ですね！ 料理はどれも美味しく、大学時代の昔話や子育ての話に花を咲かせながら舌鼓を打ちました。会食が落ち着いたところで宴も酣、くじ引きが始まりました。大分の物産を空クジなしで選べるチャンスです！ あらかじめ番号が書かれた箸封筒に皆注目。司会の軸丸さんが、ランダムに番号を

読み上げ、先着順に好きな物産をいただけるという仕組み（^ω^）。ただし、物産をいただくときに皆の前で恒例の近況報告です。子育てが終わって薬剤師の本業に力を注いだり、返り咲いたりしている方が結構いらっしゃいました。中にはその場で薬剤師を募集される方も！（薬剤師不足のため）。二次会は、同じ別館2階の個室座敷に場所を移して宴会を再開。もちろん全員参加。持ち込みのお酒とつまみでさらに話が盛り上がりました。

翌日は、展望レストランで別府の景色を眺めながらビュッフェ形式の朝食をいただきました。その後は散会し、気の合う仲間と別府観光する方達、ゆっくりと帰路に着く方など、無事同窓会を終了しました。今回は、4月の熊本・大分地震の後でしたので、ホテル白菊の状況が心配でしたが、全く問題なく手厚くもてなしていただけました。巷ではこの時期、「九州復興割」などの国・自治体主導割引キャンペーンが進められていて、丁度九州全体が旅行推奨地域になっていたこともあって、ちょっとだけ大分復興に貢献した形になりました。



平成28年7月17日 於 ホテル白菊

参加者（敬称略、旧姓）

上段 川原、木山、中村、松尾、阿波谷

中段 中島、軸丸、中垣、西山、櫻井、岩川、平川

下段 早水、釧田、柳川、内海、小川、手島、仁田

ところで、別府同窓会の準備・連絡にfacebookがとても役に立ちました。59年卒の皆さん、是非facebookユーザーになって、59年卒のメッセージグループに参加しましょう。2年後の同窓会開催地は、東京を予定しています。東京在住ではないけれど、よく上京しているため、不肖私めも幹事の一人に(汗)。昭和59年卒の皆様、

参加のご準備を！ 最後になりましたが、幹事の中島さん、中垣さん、素敵な同窓会の準備から当日のお世話まで、本当にありがとうございました。軸丸さんも大分物産の調達から司会進行、その他お世話大変ありがとうございました。また皆さんとお会いするのを楽しみにしています。

卒後31年目を迎えて

浅沼 章宗(昭60)

テニス部の先輩山口さんの奥さんにして、同級生の村島さん(あやちゃん)から、この原稿の依頼があった。推敲期間も十分ありそうだと、気軽に引き受けたものの、あっという間に、締め切りが近付いてきて、焦っている。言い訳ではないが、最近、時間が過ぎるのがものすごく速くなった。正確に言えば、速く感じるようになった。フランスの心理学者、ピエール・ジャネによれば、人生の一時期における時間の心理的な長さは年齢に反比例するという。つまり、このとおりに、年齢とともに、1日の時間が短く感じるようになるのも致し方ないと諦めてみる。それでも約束の締め切りは変わらない……。

ここ数年、製薬協の仕事をしていた関係で、母校の非常勤講師として、大学院1年生に創薬プロセスの講義をしている。毎年1回訪問し、1コマだけ授業をするだけなのだが……。学生時代に受けた御恩を少しでもお返しすることが出来ればという気持ちでやらせていただいている。毎年、長崎に行くたびに驚きがある。ここ数年では、入口奥に、中島健一郎先生の退職記念の大きなおぼの古くない(新しい)時計が設置されたこと、臨床系の研究室が歯学部のある坂本町に移り、なんとなく校舎が広々としたことなどである。そして、毎年、文教地区を訪れるたびに、学生の頃の、たくさん楽しかった思い出と、ちょっぴり苦い思い出に浸っている。そして、(体は中年だが)気持ちは完全に学生へと変化する。ここから自分の実質的な人生が始まったと感慨深げに周りを眺めてみる。学生の頃出没していた街並みはいくつかの店が奇跡的に残っているだけで、大きく変わっている。それもそのはず、卒業後31年が確実に過ぎているわけだから。そういえば、学生の頃は、のどが痛く風邪かなと感じたら、濃い酒で消毒すれば翌日には体調が戻っていたものだが、最近では、薬に頼らないとなかなか治らないというように、体調も確実に変わってきた。

ちなみに、体調と同様に、ここ1年で仕事の内容も大きく変わった。入社以来かれこれ30年以上携わっていた医薬品の研究開発から、医薬品から繊維素材に跨る新規素材を探索せよ、という社命に基づき、新規素材の開発

に着手した。そして、この夏から、住まいも静岡県での単身赴任に変わった。新しいことをやるのに年齢は関係ないという信条のもと、右も左もわからないところから始めて、戸惑うところもたくさんあるが、どうにか期待に満ちた刺激的な毎日を過ごしている。今までとは全く違った世界を見ることになり、広がった視野を面白いと感じている。さらに、この仕事のサイクルは、医薬品開発より早いので、早期に結果を出せるところが、魅力に思っている。その分、出来ることはすぐ着手するということを今までよりも強く意識するようになってきた。

さらに、卒業後31年で、家庭の環境が大きく変わっていることに気付く。結婚し、3人の父親になった。その子供たちも一人目に続き二人目もそろそろ巣立とうとしている。一方で、上の子から13歳離れた3人目は反抗期まっただ中にある。上の二人を育てた経験が通用しないところが多々あり、子育ては難しいものだと、この歳になって改めて痛感している。

ところで、同級生・同窓生と会えるチャンスがあるときには、なるべく時間を作って、出来る限り会っておこうと考えている。常識的に考えて、今まで生きてきた時間よりも、これから生きていく時間の方が短いという刹那的な感情も無いわけではないが、各方面で活躍している同級生・同窓生と昔話をしながら古き良き時代を思い出すとともに、長崎の地というスタートから、それぞれの道を歩んだ仲間の姿を見て、とても刺激を受けることができる。そして、明日からも頑張ろうという意識になる。ここ1年を振り返ると、鬼山さん夫妻(鳥飼久美子さん)、西山(高橋)薫さん、そして、原君、木原君、金谷君、洪田さん、堀君、狩野君、川峯君、伊東君、徳田君、江藤君、原田さんといった面々との食事会を楽しんだ。残念なことに、東京支部の同窓会には出席できなかったが……。

今まで、卒業後に変わったことを中心に書いてきた。学生時代に下宿部屋に貼っていたポスターの中で微笑むアイドルを、最近のTV番組で見ることがあった。正直、お年を召されたなあと感じた。そんな折、隣の妻を見て、唯一、学生時代から変わっていないことを発見した。妻

の容姿はほぼ昔のままで、相変わらずかわいいのである。(いつも見ていて変化がわからないのかもしれないのだが……)この点は忘れずに言及しておかなければならない(汗)。

さて今年は、週末のたびに台風に襲われるという台風

の当たり年であったが、先日の台風で我が家に雨漏れが発生した。新築したと思っていたら、14年目での雨漏れ。雨漏れの発生が早いと感じるのは年齢のせいか……いやいや、これは明らかに年齢とは関係ないはず。いずれにしても修理の段取りを。いつ? 今でしょ!

卒後30周年記念同窓会 in 伊王島&軍艦島

谷口 智子(昭61)

平成28年9月18日曜日、午後5時半より、長崎大学薬学部昭和61年卒業生卒後30周年記念同窓会が、長崎温泉やすらぎ伊王島で執り行われました。ご尽力下さいました本多 隆君を始め、幹事の皆さん、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。本多君に至っては、ホテルの行き方など、こと細やかな案内と共に、こまめに連絡を下さり、ありがとうございました。同級生に連絡をつけるという、考えただけでも面倒臭いことを何度もして下さいました。それに、同窓会当日の配布資料の完璧さ、段取りのよさ、学生時代の出来事、流行語、ヒット曲に至るまで、あのころの出来事(思い出プレイバック)と称した資料を頂き、本当にプレイバックできました。更には、同窓会の翌日には、昨年世界遺産に登録された軍艦島クルーズという嬉しい企画も組み込んでくれました。前回の同窓会は、東京での屋形船であって、好評だったとのことで、その前は鹿児島と、現地の有志が2~3年おき、定期的同窓会を開いてくれて、私も5

年前の博多であった際に参加させて頂き、同窓会に数回出席していると、卒後30年といえども、すごく変わったのではないかとこの恐れもなく、免疫もついて、嬉しい再会となりました。

当日は、台風16号が迫る中、中止の連絡もないままに、遠い所は、東京、大阪から、九州は鹿児島、宮崎、震災で大変な熊本、大分、その他、山口、福岡からも、長崎伊王島に総勢36名が集結しました。会の始めに、残念ながらご病気で若くしてお亡くなりになられた4名の同級生、藤(旧姓永田)美代子さん、内野(旧姓坂川)則子さん、黒崎(旧姓進藤)芳香さん、山口清美さんのご冥福をお祈りし、黙祷しました。

30年振りにお会いする人もいますが、学生時代から30年間の時の流れで、当然ながら、老けたとか、太ったとか、痩せたとかはあっても、話が弾むと30年の月日は不思議で、あっという間に越えてしまえるもので、懐かしくも、楽しい集いでした。10年一昔といいますが、30年



平成28年9月18日 於 長崎温泉やすらぎ伊王島

ほんとに経ったのかなと思えるほど、大学時代がつい昨年くらいのも出来事のように思えました。お料理は海の幸が満載で、新鮮でおいしくておなかいっぱい頂きました。宴もたけなわとなり、宿泊しない人から順に、宿泊する人は部屋毎のグループ単位で、前に出て、一人ずつ近況報告をし、ますます盛り上がっていきました。30年間の個人の出来事、大学生だった私達も、ほとんどの方たちが、父となり、母となり、お子さんがご結婚されたりと、それなりに立派な中高年になり、それぞれの30年や近況が報告されていきました。皆さん、それなりに悩んで、がんばっているのだと、感心することしきりです。その中で、独断と偏見で特に印象に残った事について、勝手に取り上げさせて頂きますと、お医者さんになったYちゃんは、朝は4時に起きて4時半出勤、5時から仕事をやるなんて、すごすぎる。4時半におきてお嬢さんのお弁当を作るMちゃんも、すごすぎる。プライベートな金額まで、包み隠さず教えてくれるF君、相変わらずすごい。お嬢さんの旦那さんと一緒に暮らすTちゃん、羨ましい、これも信頼あってのこと、とても微笑ましくて、素敵過ぎます。楽しいうちに3時間ほど過ぎて1次会が終わり、部屋を代えて、記念撮影をしました。そのまま同じホテルで2次会があり、たくさんおいしいお酒を飲まれたことと思います。今年の伊勢志摩サミットで飲まれたお酒もいくつも集まり皆さんの優しさを実感しました。男子の部屋のベッドの数が人数よりひとつ足りない事案は、その後どうなったのか、ちょっと気になる蒸し暑い夜、いかにもリゾートホテルを醸し出しているフェニックスが台風接近で揺れていました。

明けて次の日、いよいよ軍艦島クルーズ、小雨が降り、海は白波がやや立っている中、上陸できるか心配ですが、9時50分までに伊王島のホテルロビーに集合し、軍艦島行きのターミナルに移動、10時20分頃より注意事項やスタイリッシュなビデオを鑑賞して、軍艦島の知識を得、10時50分頃乗船しました。ただ、上陸できるかは、

行ってみないとわからない。風向きや波の大きさの条件で、晴れていても上陸できない時もあるし、雨でも上陸できる時もあるそうです。通勤の途中に、軍艦島に行く人たちの集まりをよく見かける私としては、実は自分が生まれた所であり、両親が7年暮らして、兄もその病院で生まれ、私もそこで生まれたというだけで、愛読書が日本の島ガイド『SHIMADAS (シマダス)』の島好きの友達に尊敬され、記憶は全くありませんが、昔自分がいて、無人島、廃墟、世界遺産になった所に行くという不思議な感覚で、嬉しい反面、台風接近の中、危険を知る家族から心配されました。高速艇は最初快調に飛ばしていましたが、揺れに強い構造になっているはずがすごく揺れ、船内は不穏な雰囲気になり、軍艦島の周囲を1周して懇切丁寧な映画などの撮影スポットや建物の説明を聞き、あそこにいたのかと個人的に思いを馳せることができました。しかし、やはり上陸は無理ということになり、揺れる船内の2階のデッキから人数制限しながら順に写真を撮りに上がりましたが、テラス席のような丸見の2階は、揺れの中、なかなかのスリルがありました。近くで見る軍艦島はやはり迫力があり、昔の人の逞しさを感じました。船内のビデオでは、遊泳禁止の荒波の中、海に飛び込む子供たちの映像があり、電化製品の普及率は100%と国内一最先端の豊かな暮らしをしていたとのことでした。大きな波が軍艦島の建物以上に打ちあがり、その迫力にびっくりしましたが、そんな台風の時もここに大勢の人が家族のように暮らしていたんだとあらためて思いました。あまりの揺れに、具合が悪くなる人が続出しましたが、船のスタッフの方から、冷たいお絞などお気遣い頂き、ありがとうございました。無事、帰って下船しましたが、お昼からの便は欠航になったそうで、上陸できなかったけれど、近くまで行けただけでも良かった、本多君ありがとうございましたと感謝し、今度は大阪での同窓会よろしくと言いつつ別れて、台風接近の中、それぞれ家路につきました。

平成6年卒業生の同窓会 in 福岡

岩永（阿南）真理（平6）

平成28年7月17日、福岡市にあるハイアットリージェンシー福岡にて同窓会を行いました。昨年熊本でプチ同窓会を行ったのをきっかけにして、全員に呼びかけて学年全体で同窓会をしようという話になり、20年ぶりくらいに全体の同窓会を行いました。今回の開催に当たり、幹事役として野村 扶君、鶴池浩樹君、川上（田中）康子さん、白谷（福山）裕子さん、私岩永（阿南）真理で開催を計画いたしました。

久しぶりの開催だったので、連絡方法も少し悩みまし

た。最近はFacebookなど便利なツールがあり、長業94会のグループを作り、そこで参加を呼びかけました。連絡がつく方はそれぞれメールなどで連絡したり、それで連絡がつかない方たちには葉書で案内を送りました。葉書には近況を書いてもらうようお願いしておりましたが、来られない方たちからも沢山の近況報告もいただき、会場に掲示して皆さんに見てもらえるようにしました。90人ほど連絡した方のうち70人以上の方から連絡をいただいて、27人の参加で開催することができました。

遠くは関東の方からも集まってくれました。今回は平成6年卒業生と大学院から長崎大学薬学部に入学してくれた人たちも誘ってみることになりました。参加してもらって嬉しかったです。卒業以来（20年以上ぶり）会うという人たちもいて、とても懐かしい感じが思い出されました。それぞれ、家庭のことや仕事のことなど、笑顔を交えながら話し、懐かしく楽しいひと時を過ごしました。嬉しい報告などもありました。金村隆則君が近いうちに結婚するということ（9月22日挙式）、吉本雄祐君に第1子が生まれるなどなど（8月31日誕生）いい知らせが聞けるのも同窓会ならではのですね。

今回は子育て世代のママさんもまだまだいるので、開始時間を午後3時からとしましたが、その後2次会～4次会くらいまであったようです。子育て世代の私は2次会まで参加し、当日「かもめ」で長崎に帰りました…。とても楽しいひとときでした。

今回残念ながら来れなかった方たちも、次回はぜひ参加してください。今年参加してくれた方たちもまた会いましょう。また盛大な同窓会が開催されるといいなと思います。皆様よろしく願いいたします。



平成28年7月17日 於 ハイアットリージェンシー福岡

卒業して20年 ～平成8年薬学部卒同窓会～ in 博多

山口 拓 (平8)

卒業して早くも20年が経ち、「それでは“同窓会”しませんか!」ということで、連休の中日である平成28年7月17日(日)に「祝(!?)20周年平成8年薬学部卒同窓会」を野元秋宏君と企画いたしました。同級生は全国各地に散らばっていますので、集まるのには便利が良からうということで福岡での開催を決定しました。また今となつては長崎市内には無くなってしまったあの「手羽屋」が博多に移転して営業していることから、博多駅近くにある「手羽屋福岡本店」において懐かしい料理を前にしての同窓会を開催する運びとなりました。

時間が十分になかったり他の用事があったりでゆっくり出来ない方もいましたし、流石に歳なので朝までという訳にはいかなかったですが、懐かしい面々で学生の頃のように大きな声で話して笑っている姿を見ることができました。手羽屋名物の“手羽先の唐揚げ”、“とろろの磯部揚げ”も懐かしかったですね。その後、2、3、4(!?)次会まで、進むお酒と共に積もる話で盛り上がりました……。

今回来れなかった方も 皆さん見た目ほど中身は変わっていませんので安心して、またの機会を楽しみにしておいてください。少しの間だけですが 日常から放れて少しだけ若い気分になれると思いますよ。。。次は5年後くらい、卒後25周年ということで開催でしょうか……。

それぞれの人生を歩んでいます 大学時代をともに

過ごして 良くも悪くも色んな思い出を共有する仲間です。また元気に集まることができることを楽しみにしています!!

写真は、同窓会@手羽屋での集合写真です。ちょっとボヤっとした感じになっていますが40過ぎとしては色々とはっきり見えなくていいんじゃないでしょうか!?

以上、長崎大学薬学部平成8年卒業クラスの20周年同窓会の報告とします。

<追伸>

私、現在、佐世保にある長崎国際大学薬学部にて薬理学・薬物治療学の教員として従事しております。前職の北海道大学医学部がある札幌から佐世保に移り住んで6年になりますが、まだ出来て間もない新設薬学部にて、地域に根ざした薬剤師養成と薬学教育、研究に携わっております。長薬同窓会の皆様には本学学生が共用試験や病院・薬局における実務実習等々にてお世話になっていることと存じます。本学の学部教育へのご協力の程、今後ともよろしくお願い申し上げます。また、本学では私自身が学生の時に教授頂いた中島憲一郎先生(昭46)が学長にて、榊原隆三先生(院昭50)が学部長にて現在活躍されております。本学キャンパスは佐世保のハウステンボス近くでございますし、近くにお立ち寄りの折は是非ともお立ち寄りくださいませ。



平成28年7月17日 於 手羽屋福岡本店

近況報告（長薬に戻りました）

萩森 政頼（平13）

長薬同窓会の皆様には日ごろより大変お世話になって
います。平成13年卒の萩森と申します。2016年4月、神
戸薬科大学（向 高弘 教授（特））より医薬品情報学分野
（川上 茂 教授（平7）、測上由貴 助教（平22））に参りま
した。現在、准教授として、薬学教育、研究に微力です
が精進させていただいております。当研究室は、現在、
長崎国際大学の学長をされている中島憲一郎先生が初代
教授として開講された研究室であり、私も長崎国際大学
に6年間お世話になっていましたので（中島先生とは残念
ながら入れ違いで時期が重なることはありませんでした
が）、不思議な縁を感じております。本年度は、スタッ
フ3名、博士・博士後期課程7名、博士前期課程2名、
学部生（3-6年生）25名の大所帯でスタートし、川上教
授のもと、日夜、DDS、核酸・遺伝子デリバリー、医薬
品の有効性・安全性評価、分子イメージング等の研究を
行っています。研究室は昨年、医療系の3研究室（薬物
治療学、薬剤学、実践薬学）とともに長崎大学病院の一
角である医歯薬学総合研究棟7階に引っ越し、文教キャン
パスの頃とは様変わりしていますが、これまでに培われ
た精神・伝統といったものは引き継がれているのでは
と感じています。また、病院地区にありますので、より
臨床を意識できる研究環境にあります。私はこれまで基
礎系の研究に従事してきましたが、これからは臨床を指
向した研究にも取り組みたいと考えています。

私は、薬学部（薬化学研究室、藤田佳平衛 教授）を卒

業後、関西や関東を経て、15年ぶりに長崎市に住むこと
になりましたが、学生時代の懐かしい記憶が蘇る一方
で、長崎の夏があまりに暑いこと、雨粒がびっくりする
くらい大きいことなど、驚き戸惑うことが多々あり日々
楽しんでおります。昔はバイク（原付？）に乗っている
学生も多かったように思うのですが、時代の流れなのか
あまり多くないように思います。一方、大学教育も大き
く変わり、薬学部6年制になったことはもちろんです
が、授業スタイル自体が変貌しています。先生方からの
話を聞く従来型の講義だけでなく、e-ラーニングやアク
ティブラーニングといった学生が能動的に参加し、問題
を発見し、解を見つけていくといった双方向型の授業が
活発に取り組みされており、私たちが学生の頃にはなかつ
たものが積極的に活用されています。昨今、医療の現場
において、コミュニケーションの重要性が叫ばれていま
すが、しっかりと実践的な技術を身に着けた学生が将来
それぞれの分野で活躍される日も遠くないと期待してい
ます。

さて、平成13年卒のみなさん、我々の同級生である兒
玉幸修君と藤原雄介君が長崎大学にいらっしゃることを
ご存知ですか？ お二人とも元気にご活躍されています。
みなさん、長崎大学の近くにお越しの際は是非ともお立
ち寄りください。

平成21年卒同窓会

桑田 拓也（平21）

卒後7年、30歳になるから（もちろん、すでに30歳を
迎えている人もいるわけだが）と平成28年3月20日に平
成21年卒同窓会が開催された。同級生は各地散り散りに
おり、長崎はアクセスが悪いからと、長崎ではなく福岡
にて約50名が集って行われた。

会うのは7年振りといった人、ちよくちよく会ってい
る人、様々いたわけだが、お互いの近況や世間話をしな
がら楽しく過ごした。学生時代と違うなという所は、
我々アラサー世代になると、結婚したとか近いうちに結
婚するとか子供が産まれるとかいう人が多い。その点で、
新婚生活はどのこの、子供がいるとどのこのこのと
いう話をすると、我々もいい歳になってきたなと実感し

た次第だった。

あれこれと話したり飲んだりしているうちに、あつと
いう間に一次会・二次会がお開きとなり、各自三次会……
へと消えていった。

そして、このような同窓会の様子を会報誌に載せてい
ただける時、多くの記事にはその会の全体写真が載せて
あると思います。当日、飲む・食べる・話すに夢中だつ
たため、写真を撮っておりません。参加された皆さん、
申し訳ございません。

最後に、幹事してくれた大迫君にこの場を借りてお
礼を言いたいと思います。ありがとう、お疲れ様でした。

友人の結婚式にて

松本 洋平 (平25)

寒気きびしき折柄、あわただしい師走となり、何かとご多用のことと存じます。私は、医歯薬学総合研究科医療科学専攻に所属する博士課程2年の学生です。普段は、医薬品合成研究室というところで有機合成の研究を行っております。さて、この度同窓会報「クラス会および近況だより」に誠に恐縮ではございますが、寄稿させていただきました。

私たちの学年においては、学士ならびに修士課程を経て大半の人が2年前の平成26年度に大学を卒業し、就職していきました。様々な職種（研究職、CRO、MR、病院薬剤師、薬局薬剤師、公務員など）に、皆それぞれ就職し、仕事にも徐々に慣れ始めたころのことと思います。中には、私のように博士課程に進学し、薬剤師国家資格を目指し大学に残る人もこの学年においては、少なくありません。皆、各地域に散り散りになっており、集まる機会も少ないですが、今回は以前仲間内で集まった際のことについて書かせていただきます。

仲間内の集まりの中で最も人数が集まったのは今年の12月の私の同級生の結婚式でした。結婚式は長崎で行われ、遠くからは富山県から来た友人もいて、長崎大学薬

学部の同級生は総勢20名ほどいたかと存じ上げます。新郎の人柄の良さから、多くの同級生が新郎を祝福しに、長崎まで駆けつけ、結婚式はちょっとした同窓会のようなものでした。披露宴では、特に仲の良かったグループで余興をし、サッカーのユニフォームを着てはっば隊を踊り、祝福しました。会場が盛り上がったかはさておき（笑）、新郎が泣いて喜んでいたことはとても嬉しく、余興をした皆で喜びを分かち合えたことは思い出として深く刻まれました。2次会は新郎抜きで行われましたが、それぞれ就職して1年も経っていないため、薬学部生時代の思い出話よりも仕事の近況報告などといった最近の話題で盛り上がりました。3次会では幸せいっぱい新郎がきれいな花嫁を連れて合流し、場は大いに沸きあがりました。普段は見せないようなデレデレとした新郎を皆でからかい、また新郎の昔話を花を咲かせました。とても楽しい結婚式だったため、皆名残惜しみながらも、またいつか再会することを約束し、お開きとなりました。同級生である彼らとこれからも親睦を深めたいと改めて感じた一日でした。ご一読ありがとうございました。



平成27年12月 於 長崎ロイヤルチェスターホテル

近況報告

畑 こそ恵 (平26)

私は平成26年に大学卒業し、鹿児島大学病院にて病院薬剤師として勤務して3年目となります。当院には約60名の薬剤師が勤務していますが、そのうち長崎大学・大学院出身の薬剤師は6名います。

私は医薬品情報室に所属し、院内外からの問い合わせ対応、DI newsの作成、新薬の院内PR前のヒアリング、薬事委員会の運営など、まだまだわからないことも多いですが、院内での薬剤の適正使用のために情報収集を行い、発信しています。

当院では病棟薬剤業務も行われていますが、部署毎に担当病棟が割り振られています。私は主に呼吸器内科と脳神経外科の患者さんが入院されている病棟にて活動しています。病棟では薬剤管理指導をはじめ、病棟医が行っているカンファレンスへの参加、看護師との情報共有会などにも参加させていただき、多職種と関わり、より良い医療を提供できるよう協力して活動しています。

個人的な近況報告になってしまいますが、今年の8月末にアルゼンチンのブエノスアイレスにて開催されたFIP World Congress 2016へ参加させていただきました。当院の薬剤部では通常業務以外にも研究活動を行う薬剤師が多く、国内外問わず、各職員が様々な学会に参加しています。初の学会発表が国際学会で、さらに地球の裏側での開催ということもあり、楽しみと不安が半々。英語でのポスター作製は悩むことばかりでしたが、たくさんのアドバイスをいただき、何とか形にすることができました。時差12時間のブエノスアイレスまではアメリカ経由で1日以上かかる長旅でした。

中枢神経原発リンパ腫に対する化学療法であるHD-

MTX療法はMECの中でも特にNK1受容体拮抗薬を使用したほうがよいと各種ガイドラインに記載されています。しかしそのことについての明確なエビデンスがなかったため、HD-MTX療法に対するホスアプレピタントの有効性についての発表を行いました。ポスター発表は1日のみで、会場の端のほうの展示スペースだったためか、見に来てくださる方がとても少なく、少し寂しい印象でした。中国人男性が英語で質問してくださり、あとは日本人数名と日本語で互いに質疑応答といった感じでした。ポスター発表以外にもHospital Pharmacy Sectionや各国・大学のレセプションへ参加し、片言な英語ながらも、様々な国の薬剤師の方と関わり、国ごとの薬剤師の業務内容の共通点や相違点を学ぶことができ、刺激になりました。学会の空き時間には市内観光だ



友人と石垣島にて



サークル仲間とキャンプ場にて

けでなくイグアスの滝へ足をのびし、一生の思い出となる素晴らしい経験をすることができました。また、キルギスタンや台湾の同世代の薬剤師の方々とは帰国後もSNSを通じて交流するという試みを行っています。学会への参加は刺激的に感じることや反省することが多く、今後は薬剤師としての専門性や知識だけでなくそれを伝えられる英語力や表現力も習得していきたいとより一層強く感じました。

いつまでも終わらない夏や突然の豪雨、桜島の灰、意外と見かける魔王（焼酎）…などといった鹿児島市内での生活にも慣れてきましたが、長崎が恋しくなることも

多々あります。大学卒業後も大学時代の友人と旅行に行ったり、サークルの仲間と学年を問わずキャンプをしたり、結婚式に行ったりと長業出身者と会う機会が多く、近況報告や大学時代の懐かしい話で盛り上がり、今でも素敵な繋がりをもつことができています。また、年1回の国立大学病院対抗のソフトボール大会では各県の大学病院に就職している先輩方や同級生、後輩と、ライバルとして戦っています。これからも大学時代に出会った方々との関わりを大切に、アドバイスを刺激を受けながら薬剤師として人としてより一層成長していきたいと思っています。

6年間を振り返って

菅 忠明（平27）

長崎大学薬学部に入學してから、もう6年が過ぎました。入學してからすぐに行われた島原での研修では、様々な年齢や都道府県の出身がいましたが、スポーツや食事を通してお互いを知り、仲良くなることができました。島原に向かう途中で食べたじゃがちゃん味の味は今でも鮮明に覚えています。講義が始まり、中にはとてもとても厳しく難しい講義もありましたが、講義を通して薬学という学問に触れたことで、早く研究室に入って研究をしてみたいと思ったのは私だけではないと思います。

2年生からは、さらに専門的な科目が増え、基礎実習も始まりました。基礎実習では、様々な研究室の研究に触れさせていただき、研究室配属へ向けてより一層熱が入りました。学祭では、出店を出したりスポーツ大会に出場したり、楽しい思い出ばかりですが、先輩方は出店の食券を大量に購入してくださり、当時の私たちはとても喜んでいたのですが、今買う立場になってみると先輩方の優しさが身に染みます。

3年生になると、いよいよ研究室に配属させていただき、研究室での生活がスタートしました。私は、川上先生の主宰される医薬品情報学研究室にて、癌へのドラッグデリバリーシステムに関するテーマをいただき、研究させていただきました。新たな研究テーマの立ち上げであったので、始めた当初は右も左もわからず大変でしたが、先生方のご指導や的確なアドバイスもあり、ポジティブなデータが得られた時はとても嬉しく、研究の面白さを実感する機会となりました。

4年生になると、薬学科は薬局・病院実習へ向けて事前実習が始まり、OSCEやCBTも行われました。一方で私が所属していた薬科学科では卒論へ向けてより一層

実験に力を入れることとなり、夜遅くまで実験している人が多く見られました。また、この頃から薬学科と薬科学科との間で講義やスケジュールに大きく違いが出始めたので、研究室の同学年で唯一薬科学科であった私は、とても寂しいような気持ちになったのを覚えています。

翌年には、薬科学科は博士前期課程に入學し、薬学科は薬局・病院実習が始まりました。一方で薬科学科の学生の中には、他大学へ進學した学生も多く、とても寂しく感じる年でもありました。また、この年は学部から大学院への進學という大きな変化に加え、臨床系研究室の坂本キャンパスへの移転や長業創立125周年記念を迎えるなど、節目の年でもありました。私たちの医薬品情報学研究室も文教キャンパスから坂本キャンパスへ移転しましたが、引越しの準備の際には、とても大変な作業でしたが、古い資料から実験器具まで様々なものを整理しました。また、長業創立125周年記念の記念式典では長業の歴史を振り返り、下村先生にもお会いすることができ、一緒に写真まで撮らせていただきました。このように、この年は引越しや長業創立125周年記念など歴史を振り返る年であるとともに、新しいキャンパス、大学院と新たなスタートの年でもありました。

そして今年はいよいよ薬学科、博士前期過程ともに最終学年を迎え、卒論・修論および薬学科は国家試験に向けて頑張っています。今思い返すとあつという間の6年間でしたが、この学年の仲間と一緒に6年間過ごすことができ本当に良かったと思います。これから、各々違った進路へ進むと思いますが、6年間で出会った人たちとのつながりを大事にして、また近いうちに皆で集まって、思い出話ができればいいなと思います。

近況報告

林田 颯志 (平28)

長薬同窓会報第56号の発行にあたり、ご挨拶と近況報告をさせていただきます。私は、長崎大学を卒業してからあまり時間が経っていないですが、仕事から帰ってくるとたまに大学時代の楽しかった思い出が思いだされ、学生の頃の写真を眺めることがあります。その写真の中には、研究室メンバーの写真、友人との写真、バレーボールやマラソンでつながったメンバーの写真などがありますが、本当に先生方、先輩、同輩、後輩に恵まれ、楽しい大学生活でした。

現在、長崎みなとメディカルセンターで病院薬剤師として長崎に残って勤務させていただいておりますが、長崎大学の出身者の方が多くいらっしゃり、大変良くしてもらっています。また、他病院におかれましても、長崎大学出身者の方から助言やアドバイスを頂けることがあります。長崎大学のつながりは、社会人になってからも大変大きな助けになっており、これからできるつながりも大事にしていきたいと感じると同時に、自分の存在も社会人になっていく後輩の助けになるようにこれから努力していきます。

話は変わりますが、私はお世辞にもほめられる学生ではありませんでした。研究室でも熱心に研究に取り組むタイプではなく、授業も睡魔に苦戦を強いられ、敗戦することが多々ありました。こういった会報でコメントする身分ではないのですが、こんな私にも個人的に強みではないかと思っていることがあります。それは、「ストレ

ス耐性」です。私は、嫌なことがあったり、悩み事があった時に発散する場所や何でも話せる友人に恵まれていると思います。趣味や「仲間」を持つことで、大抵の事は乗り越えられ、仕事でのパフォーマンスも上がっていくのではないかと信じています（自身の仕事のパフォーマンスについては改善の余地あり（笑））。僕の場合は、その「仲間」は長崎大学で出来ました。余談ですが、僕の好きな漫画でONE PIECEという有名な漫画がありますが、主人公の青年が義兄弟を亡くした深い絶望の中で、立ち直ったのは「仲間」の存在があったからでした。そこまでの絶望から自分が立ち直ることが出来るかは難しい所ですが、いずれにしても「仲間」の存在は人生の中で大きなものになることは間違いありません。

最後に、薬剤師として働くことになって、まだまだ日が浅く、薬剤師や社会を語る事ははっきりいって出来ないで、このような感じになってしまいましたが、在校生の方々は、長崎大学でできた友人を大切に、生涯の「仲間」としてほしいと思います。そして私自身も大学でできた「仲間」を大切にしながら、薬剤師としても早く1人前になれるように大学で学んだ知識と経験を糧にして、社会に貢献していきたいです。このように文章を書く機会をいただきありがとうございます。偉そうなことを述べてきましたが、どうかこれからも末長く温かく見守ってくだされば幸いです。

グビロが丘下の薬専防空壕跡地の慰霊碑周辺の清掃活動

千賀 健司 (学部3年)

平成28年8月7日(日)、27名の学部学生・院生をはじめ、卒業生・役員・事務局の方、さらに先生方にも協力していただき、計48名で15回目となるグビロが丘下の薬専防空壕跡地の慰霊碑周辺の清掃活動を行いました。

蒸し暑い中、草むしりや落ち葉拾いといった作業を1時間ほど行った後、記念撮影を行い慰霊碑に線香をあげて犠牲になられた先輩方を追悼しました。



私が1年生の時は雨天中止となったので今回で2回目の参加となりました。私にとってこの活動は、戦争について考えるいい機会となっています。戦争から71年が経った今、普段の生活の中で私達が戦争に関わることに触れる機会は次第に減っていますが、今回のよう

に実際の現場を訪れたり、当時の人々の話を聞くことで、私たちが経験したことのない戦争というものの残酷さなど感じ、学問に集中できる環境が整っている今の世の中がいかに恵まれているかがわかります。

清掃活動を終えた後は、近く中華料理店で参加された方々と会食をしました。最初に山中会長からご挨拶があった後、川上先生よりグビロが丘の清掃が行われるようになった経緯についてお話がありました。普段会うことのできない方々ともお話しすることができ、とても有意義な時間となりました。



最後になりましたが、ご多忙のところ時間を作って参加してくださった皆様、朝早くから本当にお疲れ様でした。この活動がこの先もずっと続いていくこと、そして多くの方々にこのような活動が広まっていくことを心から願います。



平成28年度白衣贈呈式

岸川 直哉 (平10)

去る9月29日(木)多目的ホールにて薬学部1年生への第4回目の白衣贈呈式が行われました。長薬同窓会本部役員からは山中國暉会長、中嶋幹郎副会長、七種均副会長、川上先生、椛島先生、松尾先生、岸川が出席しました。副学部長の西田先生からご挨拶いただいた後、同窓会長から薬学科、薬科学科それぞれの代表者1名へ

長崎大学薬学部の発端となった第五高等中学校の校章入り白衣が贈呈されました。式では中嶋幹郎先生から白衣を贈呈するようになった経緯をご説明いただき、長薬同窓会の一員であることを認識してほしいとの願いが伝えられました。今後の学生実習や実務実習において、この白衣を活用していただきたいと思います。



旧小野島校舎跡記念碑清掃

松尾 洋介 (平15)

2016年11月13日(日)に、長薬同窓会の年間行事の一つである旧小野島校舎跡記念碑周辺の清掃を行いました。参加者は柏葉会館前に集合後、車で旧小野島校舎跡記念碑の建つ諫早市小野島町に向かいました。当日は朝から晴れ渡り、無事に清掃作業を行うことができました。

1年ぶりの記念碑周辺は雑草が生い茂っていましたので、雑草やゴミを小一時間かけて取り除きました。清掃作業を終えた後、参加者全員で記念撮影を行い、例年と

同様に諫早市内の鰻店で食事会を行いました。食事会では、先輩方の近況などを伺うことができました。

最後に、今年の参加者は次の通りです。山中会長、中嶋(誠)夫妻(昭49,昭50)、濱田(昭54)、七種(昭56)、藤島(平3)、椛島(平4)、岸川(平10)、松尾(平15)、稲嶺(平18)、宮元(平20)、事務局2名です。お忙しい中、ありがとうございました。来年も皆様のご参加をお待ちしております。



クラブOB会だより

平成28年度野球部OB会

OB会

加藤 直也 (学部4年)

平成28年10月29日の土曜日、宝来軒別館にて毎年恒例の野球部OB会が開催されました。OB会当日は医歯薬リーグの公式戦があったため、現役部員が参加できず、参加者は例年より少なく32名でした。また、今年は座敷の部屋で実施されました。

開会に際して、野球部同窓会長の西脇金一郎先生(昭33)からご挨拶をいただきました。この中で前週にご逝去された高木 康先生(昭35)との野球部創成期の思い出やこれまでのご貢献についてお話がありました。

吉田泰史先生(昭55)の乾杯のご発声でOB会がスタートいたしました。会が始まると、前チームの主将により、平成28年熊本地震の影響により今年の九葉連中止の報告があり、4月29日に佐賀県多久市野球場で行われた第一薬科大学との最後の練習試合の結果報告が行われました。結果報告では、野球部の健闘をたたえて大きな拍手が送られました。また、大山 要先生(平12)から日程の都合により、OBの方々と親睦試合の中止が報告さ

れました。

会の中盤にかけまして、美味しい中華料理を口に運び、ビールや紹興酒を飲みながら、OBの方々と、近況のお話から、昔の研究室のお話、当時の野球部のお話、就職のお話など様々な今後に活かされる貴重なお話をさせていただき、終始和やかな雰囲気の中で会が進んでいきました。

会の終盤では、OBの方々の手拍子によって、現役学部生・院生により、巻頭言と校歌が力強く歌われました。

最後に、中谷勲男先生(平25)によって、今後の野球部およびOB会の益々のご繁栄を祈念して万歳三唱で会を締めくくっていただきました。

お忙しい中、ご参加していただいたOBの皆様方、本当にありがとうございました。OBの皆様方のお力添えに感謝の意を表し、より良い方向に野球部を発展させ、伝統を守り続けるとともに、来年のOB会もまた、たくさんのご参加をお待ちしております。



平成28年10月29日 於 宝来軒別館

第32回薬学硬式庭球部OB会

田川 克希 (学部5年)

今年は11月5日、6日の二日間で32回目を迎える薬学硬式庭球部OB会を開催いたしました。

初日は松山町の市営庭球場にてOB対現役生の対抗戦を行いました。対抗戦には当部活の創設者である山本先輩(院昭55)をはじめ、顧問の西田先生、テニス部発足時にテニスのご指導を頂いた百武さん、石橋先輩(平11)、梅北先輩(平11)、木原先輩(平25)、新藤先輩(平26)、矢野先輩(平26)、山元先輩(平26)といった先輩がお忙しい中参加してくださいました。ここ数年の試合結果は接戦となっていたのですが、今年は、男子はOBが現役生に、女子は現役生がOGに大きく勝ち越すという例年にみられなかった結果となりました。試合後、現役生は対戦したOBの方々からご助言を頂き、大変良い経験になりました。来年はより良い試合ができるように現役生にはより一層練習に励んでもらいたいと思います。またOBも現役生との試合で大きな刺激を受け、OB、

現役生の両方にとって大変有意義な時間となったのではないのでしょうか。

対抗戦後には懇親会を平野町の宝来軒別館にて行いました。参加者はOB、現役生合わせて70名以上にのぼり大盛会となりました。1年生の自己紹介、新旧幹部のあいさつ、OBの方々のお話と進み、現役生にとってはテニスの話のみならず、普段聞くことのできないようなお仕事の話などを聞くことのできた貴重な時間となったと思います。続く二次会、三次会も多くの方が参加してください、充実した時間となりました。

長崎大学薬学硬式庭球部OB会も今年で32回を迎え、今後さらに発展していくことと思われます。今年は残念ながら出席できなかった先輩方もご都合がつかましたら、来年のOB会に是非ご参加ください。現役一同、心よりお待ち致しております。



平成28年11月5日 於 市営庭球場



平成28年11月5日 於 宝来軒別館

庶務報告

岸川 直哉 (平10)

○定例理事会

平成28年4月3日(日)13時00分より薬学部第2講義室で開催されました。山中國暉同窓会長(昭43)の挨拶の後、平成27年度事業報告および決算報告、役員改選案、平成28年度事業計画案および予算案が討議されました。

続いて、福岡支部浦陵会の池田光政会長(昭57)よりソラリア西鉄ホテル(福岡市)で開催される平成28年度長薬同窓会定期総会について説明がありました。

また、黒田直敬薬学部長より長薬創立125周年記念事業のお礼と報告がありました。

○平成28年度長薬同窓会定期総会

平成28年6月11日(土)17時00分より、福岡市のソラリア西鉄ホテルにて開催されました。総会では、山中会長による開会挨拶の後、物故者への黙祷が行われました。その後、中島敏樹様(昭57)を議長に選出して議事に入り、平成27年度の事業報告ならびに決算報告、それに対する監査報告がなされ、承認を得ました。続いて、役員改選に関して討議が行われ原案どおり承認を得ました。引き続き、新役員より平成28年度事業計画案ならびに予算案が示され、こちらも原案どおり承認されました。また、来年度の総会(長崎市)について長崎支部ぐびろ会濱田哲也会長(昭54)より説明がありました。

総会終了後、引き続き開催された懇親会では、松本康裕様(昭24)による居合の演武のほか、浦上眞紀様(平7)によるジャズコンサートが行われるなど多彩な余興が披露され、大変和やかで盛大な懇親会となりました。

○支部長交代

長崎支部ぐびろ会会長 新会長 中嶋誠一氏(昭49)
平成28年6月18日 支部総会で決定

以上の届け出がありました。

○長薬同窓会関連施設の維持・管理

平成28年8月7日(日)に、グビロが丘防空壕跡慰霊碑周辺の清掃を同窓会本部役員・同窓生・事務局および現役大学院生・学生で行ないました。また、11月13日(日)に小野島校舎跡地記念碑周辺の清掃を同窓会本部役員・同窓生・事務局で行ないました。

○寄贈

故橋本 胖様(昭16)ご遺族より3万円、中嶋誠一様(昭49)より1万円の寄附金を寄贈いただきました。

松島昌彦様(昭29)より「薬用植物画譜 昭和60年再版 日本臨牀社」及び「彩色写真図日本の薬用植物 昭和41年 廣川書店」、毎原政利様(昭31)より写真集「長薬31年卒業60周年記念特集号、長薬31有志の集い 2014.5.18」、木下敏夫様(昭35)より「一般化学 上 ポーリング著 昭和30年 第10版」、[「一般化学 下 ポーリング著 昭和31年 第5版」]及び「薬品化学 宮木高明著 昭和32年 第3版」、木原隆英様(院昭43)より「胎児科学 西村秀雄著 雄鶏社 昭和51年」、[Catalog of Teratogenic Agents 12th Ed. T. H. Shepard and R. J. Lemire eds. The Johns Hopkins University Press Baltimore 2007]及び「実験動物の生物学的特性データ 田嶋嘉雄他編 ソフトサイエンス社 1989」の図書の寄贈がそれぞれありました。これらの寄贈図書は同窓会室に保管しております。

物 故 者 氏 名

前会報(55号)に発表のあとなくなった方、及び死亡が判明した方(敬称略)

氏 名	卒年次	死亡年月日	氏 名	卒年次	死亡年月日	氏 名	卒年次	死亡年月日
橋 本 胖	昭16.3	平28.2.-	馬場(渡辺)衛	昭25	平28.9.23	足 立 寛	昭35	平28.1.20
塩 飽 健 而	昭16.12	平28.1.14	狩 野 勝 茂	昭26	平28.7.22	井上(松本)明子	昭35	平28.5.24
池 田 保 彦	昭20	平28.1.29	山野内(荒木)文子	昭28	平27.6.-	高 木 康	昭35	平28.10.17
高 橋 安 人	昭20	平28.5.15	齋 藤 卓 三	昭28	平27.11.-	野 内 栄 二	昭37	平27.5.-
清 水 勅 彦	昭23	平27.12.18	吉 田 一 美	昭28	平28.10.21	堀 部 ミサ子	昭38	平28.1.-
濱 崎 英 夫	昭23	平28.1.28	田中(坂本)恵津子	昭29	平27.12.3	大津(鶴原)富美子	昭48	平28.6.18
新 宮 勝	昭23	平28.8.10	森 登	昭29	平28.5.-	富 松 幹 夫	院昭50	平28.2.8
山 浦 弘	昭24	平28.2.8	河 田 和 子	昭32	平28.4.24	野上(石川)真由美	昭51	平27.4.9
横 尾 義 孝	昭24	平28.4.19	樋 口 喜 八 郎	昭32	平28.2.20	山 田 英 之	昭52	平28.2.22
井手上 鴻	昭25	平27.9.-	川 良 明 子	昭33	平27.4.4	鴨 川 諭	平21	平28.9.7
新久保 健	昭25	平27.6.23	金 山 久 範	昭34	平27.12.16	計		32名

長薬同窓会 寄附のご案内

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成28年6月に開催された平成28年度長薬同窓会定期総会において、長薬同窓会への寄附金を受け付けることが承認されました。寄附金につきましては長薬同窓会の運営に活用させていただきます。

つきましては下記の通り寄附金を受け付けさせていただきますので、本会の趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご賛同いただける方は、次ページの寄付金申込書・白衣希望確認書をE-mail, FAX, または郵送でお送りくださるようお願い申し上げます。

寄附対象者	長崎大学薬学部同窓生 長崎大学薬学部教職員 本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体など
寄附金の単位	個人による寄附金については1口1万円を単位とします。 法人・団体等による寄附金については1口の金額は定めません。
寄附金納入方法	郵便振替 口座番号：01860-3-4125 口座名：長薬同窓会 銀行振込 十八銀行大橋支店 普通預金 口座番号：0517453 口座名：長薬同窓会
お礼の品	ご希望の方は1万円の寄附につき長崎大学薬学部の発端となった第五高等中学校の校章入り白衣を1着贈呈させていただきます。 サイズは男女別のS,M,L,LL,XL(3L)となっております。 <u>次ページの白衣希望確認書</u> によりE-mail, FAX, または郵送でお知らせください。 毎年7月末までにご寄附いただいた方へ10月初旬ごろを目安に贈呈させていただきます。 贈呈数の例：10万円の寄附→0～10着まで選択可能

長薬同窓会 会長 山中 國暉

問い合わせ先：長薬同窓会事務局

〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学薬学部柏葉会館内

TEL&FAX：095-844-6383 Mail：jimukyoku@choyaku.jp

年 月 日

長 薬 同 窓 会 会 長 殿

寄附者 郵便番号

住 所

ふりがな

氏 名 (卒年)

(※法人にあつては、法人名及び代表者の職・氏名)

電話番号

(※電話番号は必ず記入して下さい。)

寄 附 金 申 込 書

1. 寄 附 金 額 円

2. 納入予定日 年 月 日

3. 納入方法 銀行振り込み 郵便振替

(※いずれかに○をお願いします)

白 衣 希 望 確 認 書

1. 白衣の希望 あり なし

2. 白衣のサイズと枚数

男性用	枚数	女性用	枚数
S		S	
M		M	
L		L	
LL		LL	
XL		XL	

(※1口1万円につき1枚、最大10枚まで)

※ この申込書は長薬同窓会のホームページからダウンロードできます。

学 内 記 事

(海外渡航)

種別	職名	氏名	渡航先国	期間	渡航目的
出張	教授	植田 弘師	インド	27.11.2～27.11.7	インド・デリーで行われる「IASP Council conference」(11/4-11/7開催)に出席、および研究打合せを行う
出張	教授	田中 隆	中国	27.11.1～27.11.4	熱帯および亜熱帯植物の多様性保全と有効利用に関する国際学会講演
出張	准教授	齋藤 義紀	アメリカ	27.12.14～27.12.19	2015環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2015)に参加、発表、情報収集を行う
出張	助教	上田 篤志	アメリカ	27.12.16～27.12.21	Pacificchem2015に出席、研究発表および情報収集を行う。
出張	助教	松尾 洋介	アメリカ	27.12.15～27.12.21	アメリカ・ホノルルで開催される2015環太平洋国際化学会議(Pacificchem2015)に出席し、茶ポリフェノールに関する研究成果を発表するとともに、関連分野の研究者と情報交換を行う。
出張	准教授	石原 淳	アメリカ	27.12.16～27.12.21	Pacificchem2015(環太平洋国際化学会議2015)にて成果発表および研究分野の最新情報を収集
出張	助教	西丸 達也	アメリカ	27.12.16～27.12.21	Pacificchem2015(環太平洋国際化学会議2015)にて成果発表および研究分野の最新情報を収集
出張	教授	中山 守雄	タイ	28.3.9～28.3.12	チュラロンコン大学薬学部で開催される薬学分野における国際会議(32nd International Annual Meeting in Pharmaceutical Sciences)で、招待講演を行うため。チュラロンコン大学薬学部の交流をさらに進展させ、共同研究を開始する機会とすることができる。
出張	助教	永井 潤	アメリカ	28.5.18～28.5.22	サンディエゴで開かれるLipid Mediators in Health and Disease II and 7th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators(5/19-5/20開催)に出席。情報収集など
出張	教授	植田 弘師	アメリカ	28.5.18～28.5.22	サンディエゴで開かれるLipid Mediators in Health and Disease II and 7th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators(5/19-5/20開催)に出席。情報収集など
出張	准教授	大庭 誠	フランス	28.5.29～28.9.14	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)に基づいた、フランスのボルドー大学との共同研究のため
出張	教授	田中 隆	中国	28.4.22～28.4.26	植物抽出物製造工場・研究視察及び有用植物資源開発についての情報交換及び指導。広西植物研究所での講演
出張	教授	植田 弘師	イタリア	28.6.4～28.6.12	シシリーで開かれるthe Pain Mechanism and Therapeutics Conference(6/5-6/10開催)に出席し、発表を行う。
出張	准教授	齋藤 義紀	中国	28.7.30～28.8.20	研究材料であるキク科Ligularia属、Eupatorium属、およびそれらの近縁植物や薬用植物の採集を行う。距離的・地形的に隔てられた複数地点で採集を行うことによって、二次代謝に関する地域集団間の表現型の違いを比較検討することができ、種内多様性の形成に寄与する遺伝的・環境的要因についての深い理解が得られる。そのような多様化のメカニズム解明は、天然資源からの創薬シーズの提供に資するものと期待される。
出張	教授	岩田 修永	韓国	28.7.1～28.7.5	第46回日本神経精神薬理学会年会、第30回国際神経精神薬理学会(CINP)世界大会に参加
出張	教授	植田 弘師	イギリス	28.7.10～28.7.16	バースで開かれるInternational Narcotics Research Conference 2016(7/10-7/14開催)に出席し、発表を行う。
出張	教授	田中 隆	オーストリア	28.7.10～28.7.15	第28回国際ポリフェノール学会で研究成果発表と情報交換
出張	助教	松尾 洋介	オーストリア	28.7.10～28.7.16	オーストリア・ウィーンで開催される第28回国際ポリフェノール会議(XXVth International Conference on Polyphenols2016)に出席し、茶ポリフェノールに関する研究成果を発表するとともに、関連分野の研究者と情報交換を行う。
出張	教授	田中 正一	ドイツ	28.9.3～28.9.10	第34回ヨーロッパペプチド討論会(第8回国際ペプチド討論会)に参加し、関連情報の収集と研究成果を発表するため
出張	教授	植田 弘師	オーストラリア	28.8.16～28.8.19	The University of Sydneyを訪問し、セミナーおよび研究打合せを行う
出張	准教授	齋藤 義紀	タイ	28.9.5～28.9.15	チュラロンコン大学への海外短期留学に参加する学生の引率を行う
出張	教授	田中 隆	中国	28.10.11～28.10.16	広西植物研究所での共同研究打ち合わせと資源植物収集。Guilin Layn Natural Ingredients植物抽出物製造工場・研究所視察及び有用植物資源開発についての情報交換及び指導
出張	教授	塚元 和弘	カナダ	28.10.18～28.10.23	カナダのバンクーバー市のバンクーバーコンベンションセンターで10月18日から22日まで開催されるアメリカ人類遺伝学会年会(ASHG Annual Meeting2016)に参加・発表するため

(異 動)

異動年月日	異動内容	職	氏 名	所属研究室	備 考
H28.2.1	採 用	助 教	佐々木 恵 太	創 薬 薬 理 学	
H28.3.31	定年退職	教 授	畑 山 範	薬品製造化学	退職後は長崎大学有期雇用教員として採用
H28.3.31	辞 職	助 教	西 丸 達 也	薬品製造化学	退職後はJT医薬総合研究所（大阪）へ就職
H28.3.31	辞 職	准教授	尾 崎 恵 一	細 胞 制 御 学	退職後は大阪薬科大学へ
H28.3.31	辞 職	助 教	佐々木 恵 太	創 薬 薬 理 学	任期満了による 退職後は(株)新日本科学（鹿児島）へ就職
H28.4.1	採 用	講 師	萩 森 政 頼	医薬品情報学	神戸薬科大学から
H28.5.1	昇 任	准教授	萩 森 政 頼	医薬品情報学	
H28.6.30	辞 職	助 教	永 井 潤	創 薬 薬 理 学	任期満了による 辞職後はアメリカへ留学（日本学術振興会）
H28.10.1	昇 任	准教授	谷 村 進	細 胞 制 御 学	
H28.11.1	採 用	助 教	西 内 弥 生	薬学部育薬研究 教育センター	十善会病院薬剤部から

(学位授与)

学位記番号	学位の種類	氏 名	学位授与年月日	学位記番号	学位の種類	氏 名	学位授与年月日
甲第808号	博士(医 学)	フセインモルアブカロ HUSSEINMOLUABKALLO	平成27年10月7日	甲第887号	博士(薬 学)	マワ タリ ツトム 馬 渡 力	平成28年9月7日
甲第858号	博士(薬 学)	シモカワ ケンタ 下川 研太	平成28年3月18日	甲第892号	博士(薬科学)	ABDELHAMEED REDA FOUAD AHMED	平成28年9月7日
甲第865号	博士(薬科学)	ニシ マル タツ ヤ 西 丸 達也	平成28年3月18日	甲第893号	博士(薬科学)	イ 尹 セイ 伊 晟	平成28年9月7日
甲第866号	博士(薬科学)	ハマ グチ ノリ ヒサ 濱 口 典 久	平成28年3月18日	甲第894号	博士(薬科学)	MAHMOUD HAMED MH ELMAGHRABEY	平成28年9月7日
甲第867号	博士(薬科学)	ヒラ タ ハル ナ 平田 春奈	平成28年3月18日				

長 薬 同 窓 会 役 員

(平成28年10月)

本部役員

会 長	山 中 國 暉	昭和43年	あおかた調剤薬局
副 会 長	中 嶋 誠 一	昭和49年	あずさ薬局鮑の浦店
〃	佐々木 均	昭和53年	長大病院教授 薬剤部長
〃	七 種 均	昭和56年	アクア薬局本店
〃	中 嶋 幹 郎	昭和57年	薬学部教授
〃	藤 島 さとみ	平成3年	つばさ薬局
監 査	原 田 均	昭和51年	道ノ尾病院
庶務幹事	岸 川 直 哉	平成10年	薬学部准教授
会計幹事	椛 島 力	平成4年	薬学部准教授
編集幹事	川 上 茂	平成7年	薬学部教授
幹 事	松 尾 洋 介	平成15年	薬学部助教
〃	稲 嶺 達 夫	平成18年	薬学部助教
〃	宮 元 敬 天	平成20年	薬学部助教

学年理事

昭22年	田崎 和之	昭46年	大西 裕子	昭58年	宮崎 幹雄	平7年	南 義人	平19年	細井 雄仁
昭23年	中原 潜	〃 製	田中 秀二	〃 製	松本 秀樹	〃	土井 健志	〃	向江 俊彦
昭24年	麻生 忠介	昭47年	上田 孝子	昭59年	金子 富美	平8年	山口 拓	平20年	筒井 翔一
昭25年	塚崎 邦彦	〃 製	松本 逸郎	〃 製	中村 忠博	〃	駒田 由美	〃	向江 桂
昭26年	峰 唯信	昭48年	山内 茂樹	昭60年	塩田 英雄	平9年	平良 文亨	平21年	桑田 拓也
昭28年		〃 製	井手 清	〃 製	山口 綾子	〃	八木 洋一	〃	原 陽介
昭29年	野見山季治	昭49年	金崎 勝代	昭61年	本多 隆	平10年	岸川 直哉	平22年	測上 由貴
昭30年	帆士 辰雄	〃 製	馬場 満輝	〃 製	谷口 智子	〃	八幡 弘樹	平23年	中本 義人
昭31年	桑山 晶子	昭50年	橋間真理子	昭62年	森川 隆	平11年	水野 和美	平24年	大塚 早紀
昭32年	長田 雅子	〃 製	松田 米人	〃 製	本多 雅幸	〃	藤田和歌子	〃 科	迎 武紘
昭33年	西脇金一郎	昭51年	中村 珠江	昭63年	小田 賢一	平12年	大山 要	平25年	黄 智剛
昭34年	松尾 幸子	〃 製	原田 均	〃 製	神山 朝光	〃	松永 隼人	〃 科	原口 綾奈
昭35年	木下 敏夫	昭52年	田中 知子	平1年	嶋田 美樹	平13年	兒玉 幸修	平26年	山西 陽香
昭36年	武田 成子	〃 製	池崎 隆司	〃 製	白川奈奈子	〃	萩森 政頼	〃 科	石川 夏海
昭37年	吉田 研次	昭53年	森田 桂子	平2年	山本 稔	平14年	小西 宏規	平27年	濱崎 久司
昭38年	岡 邦彦	〃 製	町田 毅	〃	富田 守	〃	河内 亮	〃 科	菅 忠明
昭39年	鈴木 隆治	昭54年	大野修一郎	平3年	前田 理恵	平15年	原田 周平	平28年	林田 颯志
昭40年	松村 祐子	〃 製	濱田 哲也	〃	北原 隆志	〃	松尾 洋介	〃 科	松本 啓秀
昭41年	伊豫屋偉夫	昭55年	七條 和子	平4年	椛島 力	平16年	牟田 響		
昭42年	井上 一顕	〃 製	大田 佳史	〃	藤田 靖之	〃	大神 正次		
昭43年	井上 志郎	昭56年	立花 寿子	平5年	森本 仁	平17年	柴田 豪		
昭44年	中村 和子	〃 製	山口 正広	〃	田平ゆかり	〃	黒崎 友亮		
昭45年	中村 博	昭57年	中嶋 幹郎	平6年	岩永 真理	平18年	永井 潤		
		〃 製	高良 真也	〃	金村 隆則	〃	稲嶺 達夫		

院1～院5 (昭和42年～昭和46年) 富永 義則 (昭和46年)
 院6～院10 (昭和47年～昭和51年) 高橋 正克 (昭和49年)
 院11～院15 (昭和52年～昭和56年) 大木 豊 (昭和54年)
 院16～院20 (昭和57年～昭和61年) 中嶋 幹郎 (昭和59年)
 院21～院25 (昭和62年～平成3年) 本多 雅幸 (平成1年)
 院26～院30 (平成4年～平成8年) 富田 守 (平成4年)
 院31～院35 (平成9年～平成13年) 原田 祐樹 (平成9年)
 院36～院43 (平成14年～平成18年) 手嶋 無限 (平成15年)
 院44～院53 (平成19年～平成23年) 吉田さくら (平成21年)
 院54～院63 (平成24年～平成28年) 門脇 彩香 (平成24年)

長薬同窓会支部一覧

(平成28年8月)

長崎支部ぐびろ会	会 長	中 嶋 誠 一 (昭 49)
長 崎 県 北 支 部	支部長	相 川 康 博 (昭 48)
島 原 支 部	支部長	
長 崎 県 央 支 部	支部長	田 中 秀 二 (昭 46)
佐 賀 支 部 若 楠 会	会 長	藤 戸 博 (院昭52)
福 岡 支 部 浦 陵 会	会 長	池 田 光 政 (昭 57)
北 九 州 支 部	支部長	増 田 和 久 (昭 50)
大 分 支 部	支部長	石 橋 眞 (昭 49)
宮 崎 支 部 日 向 浦 陵 会	会 長	田 中 重 雄 (昭 45)
鹿 児 島 支 部	支部長	森 昭 雄 (昭 28)
熊 本 支 部	支部長	山 本 喜 一 郎 (院昭55)
山 口 支 部 抜 天 会	会 長	今 村 明 久 (昭 46)
広 島 支 部	支部長	青 野 拓 郎 (昭 52)
岡 山 支 部	支部長	歳 森 三 千 代 (昭 49)
山 陰 支 部	支部長	橋 本 覚 (昭 52)
四 国 支 部	支部長	井 上 智 喜 (昭 54)
近 畿 支 部	支部長	梶 野 繁 (昭 42)
東 海 支 部	支部長	
関 東 支 部	支部長	原 正 朝 (昭 60)
沖 縄 支 部	支部長	
北 海 道 支 部	支部長	

平成27年度長薬同窓会収支決算報告

平成28年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	6,866,335	通 信 費	1,246,357
会 費 (延2103名)	6,309,000	総会案内・会報送送料	630,222
入 会 金 等	1,132,000	振替加入者負担金	210,680
預 金 利 息	1,229	事務連絡郵便料	354,072
雑 収 入	25,000	電 報 電 話 料	51,383
		印 刷 費	1,249,278
		会 報 他 印 刷 費	1,249,278
		会 合 費	59,468
		理事会その他会合費	59,468
		旅 費	1,052,120
		会 長 出 張 費	38,700
		役 員 そ の 他 出 張 費	1,013,420
		補 助 費	1,360,000
		総会および支部会補助金	580,000
		そ の 他 補 助 金	780,000
		維 持 管 理 費	261,596
		原 爆 慰 霊 碑	233,276
		小 野 島 記 念 碑	28,320
		事 務 費	111,896
		事 務 用 品 費	7,416
		電 算 機 費 用	104,480
		人 件 費	2,702,621
		雇 員 給 料 手 当	1,030,000
		雇 員 交 通 費	34,800
		臨 時 雇 員 手 当	1,637,821
		雑 費	378,373
		会 員 見 舞 弔 慰 金	95,000
		そ の 他	283,373
		次 年 度 繰 越 金	5,911,855
合 計	14,333,564	合 計	14,333,564

会計幹事、椛島力氏立会のもと、平成27年度に関する帳簿及び預金通帳を詳細に監査した結果、記帳及び計算は妥当かつ正確なものであり、上記の通り相違ありません。

平成28年5月9日

監 査

原 田

均 

平成28年度長薬同窓会予算

平成28年4月1日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	5,911,855	通 信 費	1,700,000
会 費 (延2300名)	6,900,000	総会案内・名簿・会報発送料	1,000,000
入会金等(6年制40名、4年制40名)	1,120,000	振替加入者負担金	300,000
預 金 利 息	1,300	事務連絡郵便料	300,000
名 簿 広 告 料	400,000	電 報 電 話 料	100,000
		印 刷 費	3,340,000
		名簿・会報他印刷費	3,340,000
		会 合 費	80,000
		理事会その他会合費	80,000
		旅 費	1,200,000
		会 長 出 張 費	400,000
		役員その他出張費	800,000
		補 助 費	1,500,000
		総会および支部会補助金	700,000
		そ の 他 補 助 金	800,000
		維 持 管 理 費	240,000
		原 爆 慰 霊 碑	200,000
		小 野 島 記 念 碑	40,000
		事 務 費	350,000
		事 務 用 品 費	50,000
		電 算 機 費 用	300,000
		人 件 費	3,066,000
		雇 員 給 料 手 当	1,030,000
		雇 員 交 通 費	36,000
		臨 時 雇 員 手 当	2,000,000
		雑 費	650,000
		会 員 見 舞 弔 慰 金	200,000
		そ の 他	450,000
		予 備 費	2,207,155
合 計	14,333,155	合 計	14,333,155

同窓会事務局だより

10月27日、下村 脩先生ご夫妻が突然お見えになり、びっくりしました。同窓会費納入をお気遣いいただきわざわざおいでくださいました。

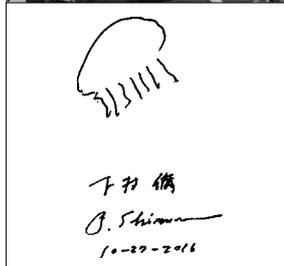
事務局の隣のノーベル賞受賞記念展示室をご覧になった後、同窓会室にある下村先生の著書数冊にサインをいただきました。1冊にはクラゲのイラストも入れていただき感激しました。88歳とご高齢ですが、まだまだお元気でした。

今年の会報には若い方のご寄稿が多数あり、嬉しさと同時に薬学部歴史の長さも感じました。

また、今年には会報に加え会員名簿も同時に発行の年でしたので、事務局には大仕事でしたが、アシスタントの岩崎さんに代わり4月から永野さんという強力な助っ人が登場し、とても心強く感じています。

この会報をみなさんへ郵送した後、何通が迷子になり返送されるのか気がかりなところですが、住所変更等のご連絡はお早めをお願いいたします。

武次 郁子 記



編集後記

長薬同窓会会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。平成28年版同窓会会報をお届けします。今年、昭和46年卒以降の学年の学年理事として従来の1名から2名に就任して頂きました。多くの新しい学年理事の皆様からクラス会および近況に関して、皆様へ届けることができたことを嬉しく思います。また昨年度、同窓会へ直接寄付したいというありがたいお申し出を頂き、役員会で寄付規定案を審議後、平成28年度長薬同窓会理事会・総会において皆様の賛同を得て、本寄付規定が決定されました。寄付金につきましては、長薬同窓会の運営に活用させていただきます。今後も、会員の皆様には、同窓会活動への更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様の一層のご健勝とご活躍を心より祈念致します。

川上 茂 記

平成28年12月15日印刷
平成28年12月22日発行

長薬同窓会報

編集 川上 茂、宮元敬天

発行 長薬同窓会

(郵便番号852-8131)

所在地 長崎市文教町1-14 長崎大学薬学部内

TEL 095-844-6383 (直通)

095-819-2471 (ダイヤルイン)

FAX 095-844-6383

メールアドレス jimukyoku@choyaku.jp

(郵便番号870-0913)

印刷所 大分市松原町2丁目1-6

小野高速印刷株式会社

TEL 0120-58-3002



長崎大学薬学部 長薬同窓会